

# リバティー彩ベッドシリーズ ニューリバティー(棚付)・ベスティー棚付ベッドシリーズ

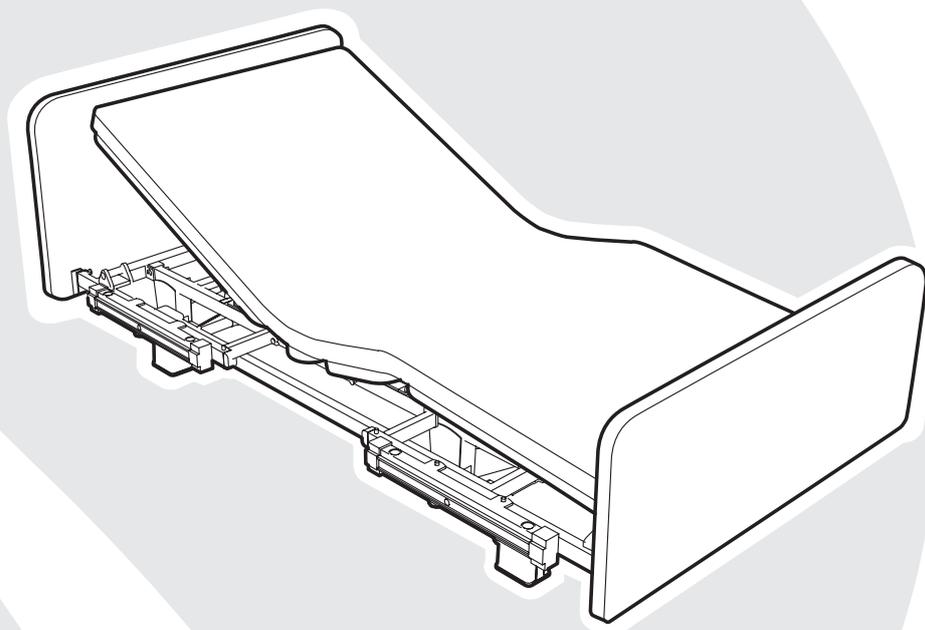
## ハイロータイプ共通取扱説明書

この度は、ランダルコーポレーションの製品をお買いあげ、またはレンタル頂き、まことにありがとうございます。

この「取扱説明書」には、ベッドを安全にご使用いただくための注意事項が記載されています。ご使用の前に必ずお読みになり正しくお使いください。

また分解・組み立て手順も記載されております。ベッドを安全にご使用いただくため、手順をよくご理解頂き、指示に従い正しく作業を行ってください。

この「取扱説明書」は、いつでもごらんいただけるように大切に保管してください。



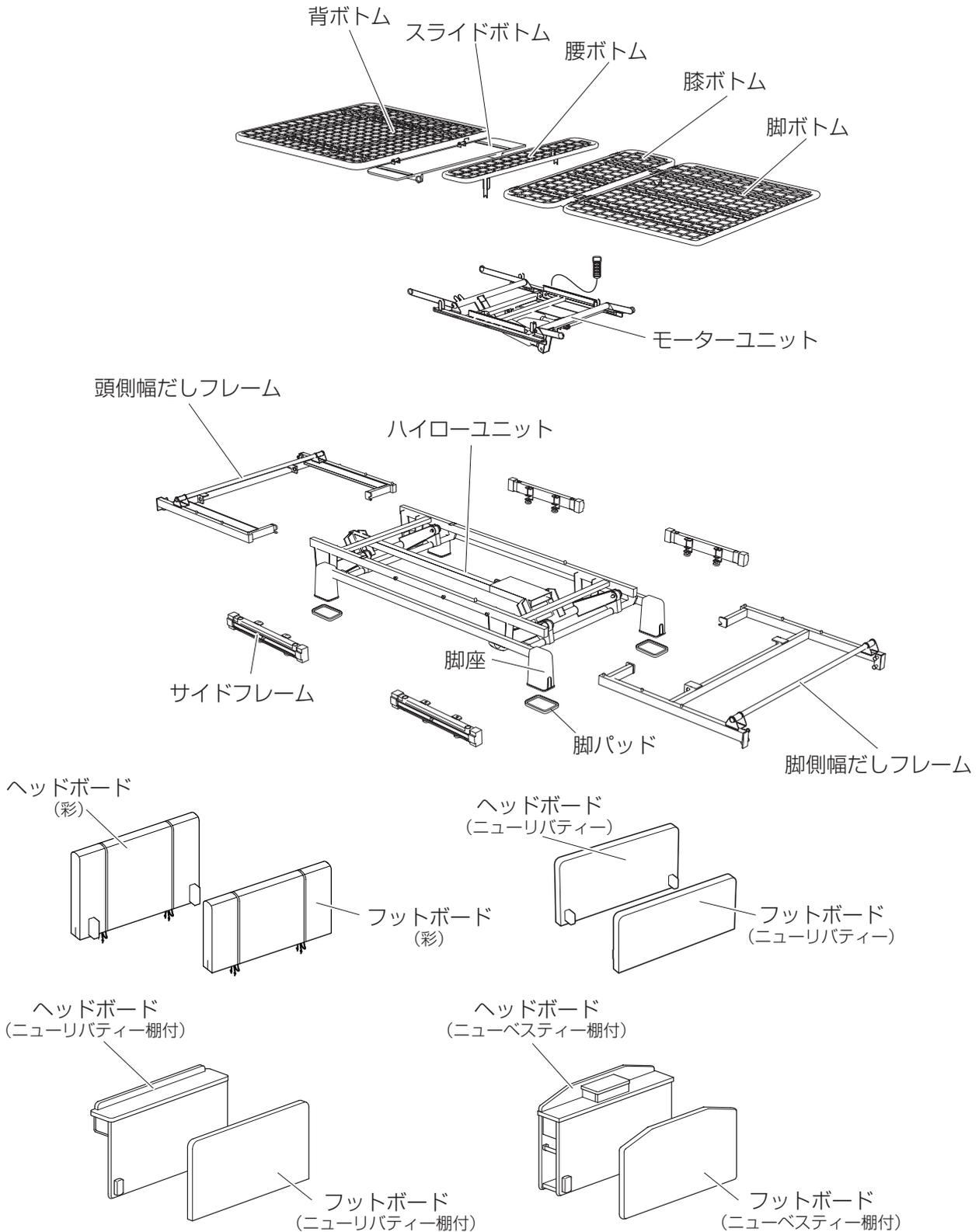
# 目次

1.	各部の名称.....	4
2.	安全に使用いただくために.....	5
3.	本書のみかた.....	10
4.	日常の使用方法和操作.....	11
	■ 手元スイッチの操作方法.....	11
	■ 背・膝ボトム連動切り替えについて.....	14
	■ 日常のお手入れ.....	15
5.	組み立てガイド.....	16
6.	組み立てる前の準備.....	17
7.	リバティー彩ベッドシリーズ・ニューリバティー（棚付）・ ベスティー棚付ベッドシリーズの組み立て方法.....	18
	■ パッケージごとの内容物と付属品.....	18
	① 脚座を取り付けます.....	19
	② 頭側幅だしフレームを取り付けます.....	23
	③ 脚側幅だしフレームを取り付けます.....	24
	④ モーターユニットを取り付けます.....	25
	⑤ 背・スライドボトムを取り付けます.....	27
	⑥ 膝・脚ボトムを取り付けます.....	30
	⑦ 腰ボトムを取り付けます.....	31
	⑧ サイドフレームを取り付けます.....	32
	⑨ ヘッド・フットボードを取り付けます.....	33
	■ 介護リフト使用上のご注意.....	36

8.	組立後の点検 .....	37
9.	分解方法 .....	43
	① フットボード・ヘッドボードを取り外します ...	44
	② サイドフレームを取り外します .....	46
	③ 腰ボトムを取り外します .....	47
	④ 膝・脚ボトムを取り外します .....	48
	⑤ 背・スライドボトムを取り外します .....	49
	⑥ モーターユニットを取り外します .....	51
	⑦ 脚側・頭側幅だしフレームを取り外します .....	53
	⑧ 脚座を取り外します .....	54
10.	サイドレール・ベッド用グリップの取り付け 及び適合するマットレスについて .....	56
11.	停電・故障時の取り扱いについて .....	59
12.	仕様について .....	60
13.	故障かな?と思ったら .....	62

# 1. 各部の名称

## リバティー彩ベッドシリーズ・ ニューリバティー（棚付）・ベスティー棚付ベッド シリーズ



## 2. 安全に使用いただくために

この取扱説明書では、ベッドを安全に正しくお使いいただくために、守らなければならない内容や、注意する必要がある内容について、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



### 警告

この表示を無視して取り扱いを誤ると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



### 注意

この表示を無視して取り扱いを誤ると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は指はさみ注意）が描かれています。



⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

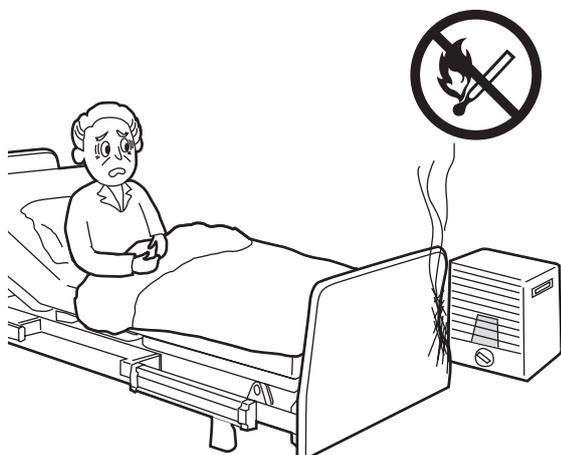


●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は差し込みプラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。



### 警告

ベッドの近くにストーブ等の熱器具を置かないでください。火災や変質、変形の原因になります。



ベッドの上での喫煙はお止めください。火災の原因になります。





## 警告

ベッドの上で飛び跳ねたり、不用意に立上  
がったりしないでください。転倒し、けがを  
したりベッドが破損する可能性があります。



ベッドの設置場所の上部に不安定な物を置か  
ないでください。地震等の際に落下してけが  
をする可能性があります。



運転中はベッドの可動部に近寄ったり、  
触ったりしないでください。挟まれたり巻  
き込まれたりしてけがをする可能性があり  
ます。



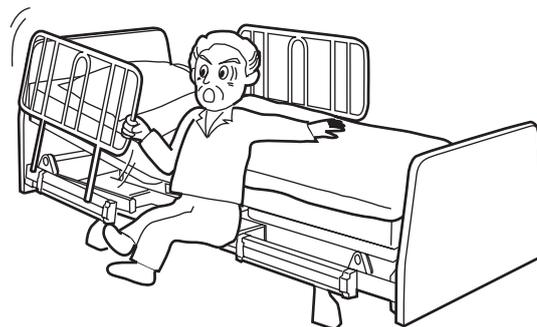
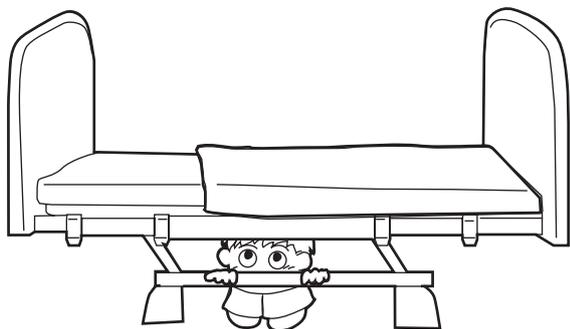
この取扱説明書に記載されている分解手順以  
外の製品の分解や改造は、絶対にしないでく  
ださい。故障や人身事故を招く恐れがありま  
す。



## 警告

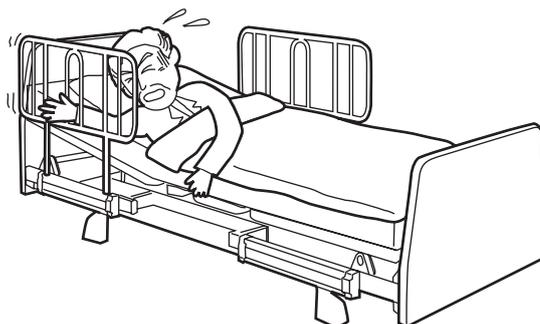
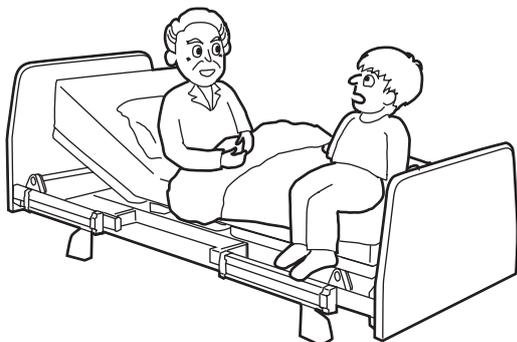
ベッドの下に潜り込んだり、頭・手・脚等を入れないでください。可動部分に挟まれてけがをする恐れがあります。

サイドフレームを設置した後、ノブが強く締めてあるか確認をしてからベッドを使用してください。ノブがゆるんでいるとサイドフレームが外れてけがをする場合があります。



ベッドの上に二人以上乗って使用しないでください。ベッドが破損する可能性があります。

サイドレールを取り付けて使用する際は、サイドレールの際間に頭・手・脚等が入り込まないように十分注意してください。特にベッド上で予測不可の行動を取る方、御自分で体を自由に動かす事が出来ない方は、細心の注意を払って使用してください。生命に関わる事故を起こす可能性があります。



## 警告

ベッドの高さを変える際は介護者の脚がベッドの下に入り込んでいないか確認してから行ってください。



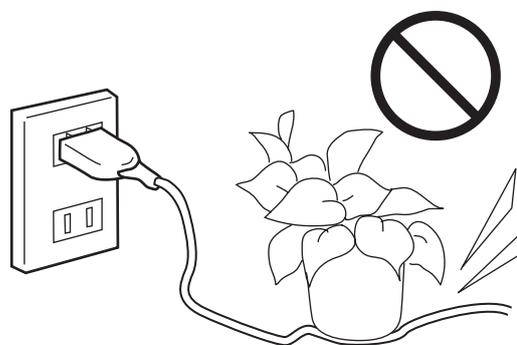
背・膝を上げたままボトムの上に腰掛けたりしないでください。



サイドレールを取り付けて使用する際は、サイドレールの間隙から頭・手・脚等を出したままベッドを操作しないでください。



電源コードはベッドで踏んだり他の物で挟んだりしないでください。ベッドの故障や火災の原因になります。



12才以下の子供や自分で適切に操作できない方には、一人で操作させないようにしてください。故障や人身事故を招く恐れがあります。

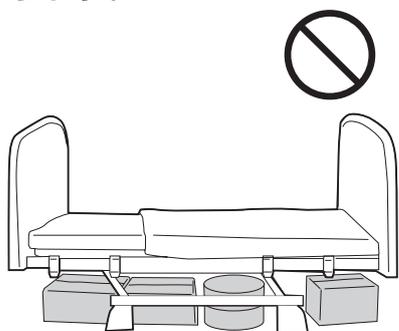


## ⚠ 注意

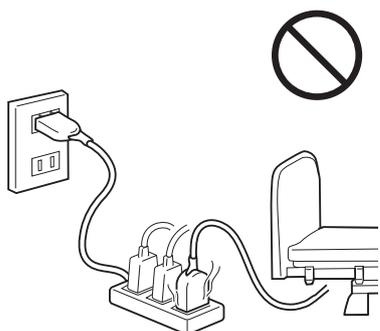
ベッドの周辺には危険物を置かないでください。ベッドから落下した時、けがをする可能性があります。



ベッドの下に物を置かないでください。ベッド操作時に部品が干渉し故障の原因になります。



電源は直接コンセントからとってください。



故障や異常に気が付いたら即座に使用を中止してください。そのまま使用すると故障の原因になります。

ベッド本体やボトムにヒモなどを縛ったままベッドを操作しないでください。

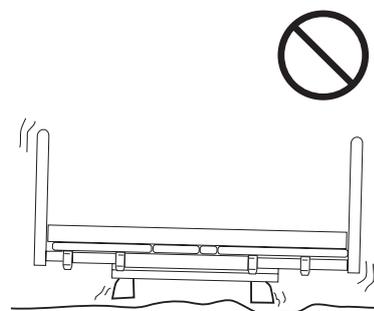
治療中の方は担当医に相談してからベッドを使用してください。ベッドの操作が病状を悪化させる可能性があります。

指定製品以外での組み合わせはしないでください。事故や故障の原因になります。

ベッドの移動は必ず二人以上で行ってください。引きずると、床に傷が付いたりベッドを破損する可能性があります。



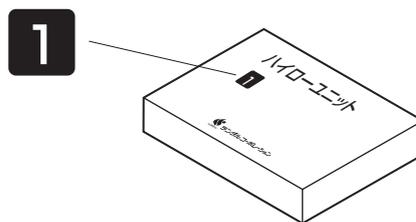
平らな場所に設置してください。ガタツキや異常音など故障の原因になります。



# 3. 本書のみかた

① タイトルの部品と取り付ける部品を表示しています。

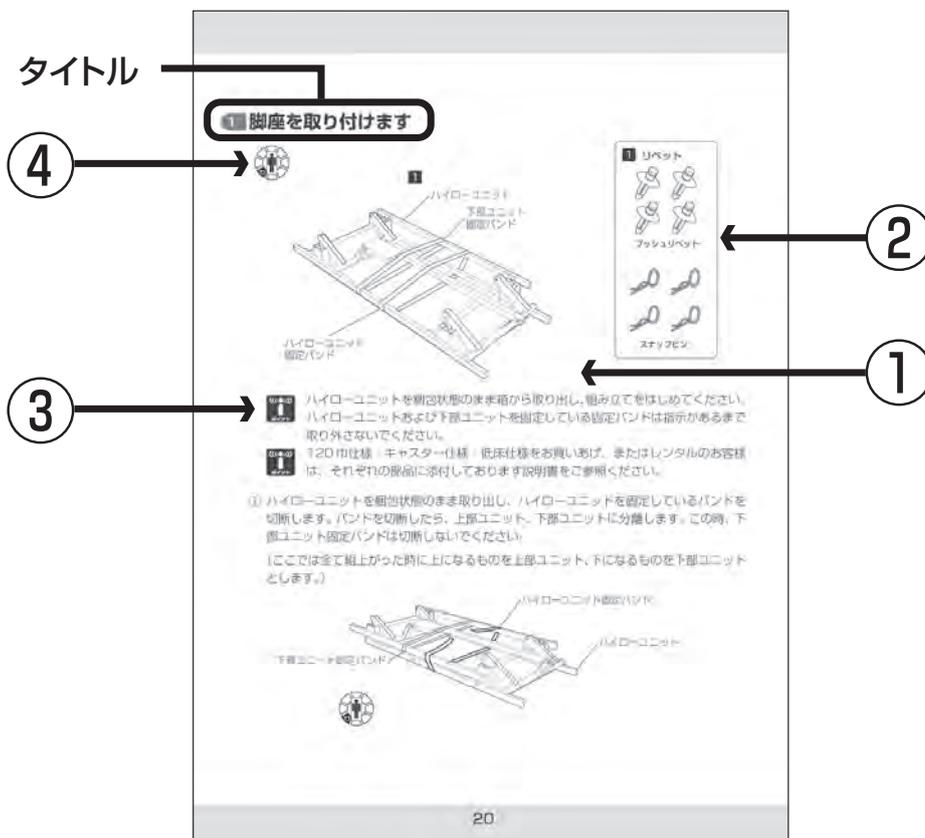
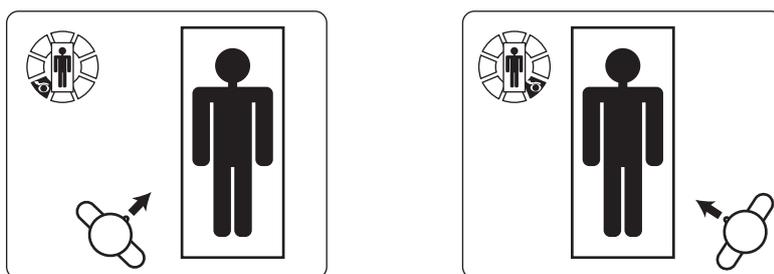
**1** はその部品が梱包されている梱包箱の番号です。



② タイトルの部品を取り付けるときに使用する部品を表示しています。 **1** は梱包番号で、それに続く名称は袋の名前です。

③  は組み立てに役立つポイントを記載しています。組み立てをスムーズに行うため、必ずお読みください。

④  は記載されているイラストが、ベッド本体をどの方向から見たものかを 8 方向のマークで表しています。



## 4. 日常の使用方法和操作

### ■ 手元スイッチの操作方法

#### 警告

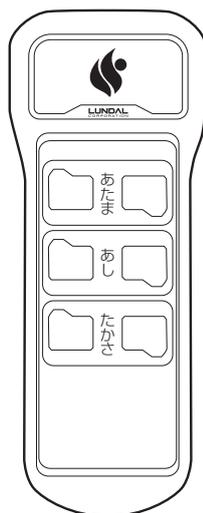
12歳以下のお子さまや自分でベッドを適切に操作できない方には、一人でベッドを操作させないでください。

#### 注意

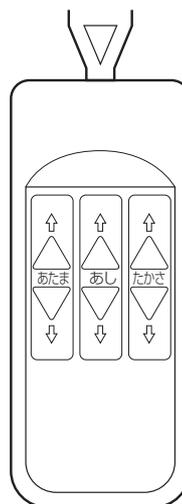
手元スイッチのケーブルがベッドの駆動部に絡まないように注意してください。ケーブルが引っ張られたままベッドを使用すると、断線や故障の原因となります。

本ベッドでは2種類の手元スイッチを採用しております。  
各手元スイッチの操作方法については同梱の手元スイッチの形状を確認していただき、TYPE-Aの場合は12ページを、TYPE-Bの場合は13ページをご覧ください。  
(下図は3モーター仕様の手元スイッチを示しています。)

TYPE-A



TYPE-B



- 手元スイッチを操作してもベッドが動かない場合は、繰り返し手元スイッチを操作せず、62ページの「13. 故障かな?と思ったら」を参照してください。

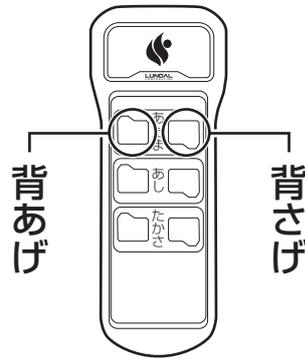
## ● 手元スイッチ：TYPE-A

### 背あげ 3モーター仕様



背ボトムを調整します。  
(水平から最大75度)

手元スイッチ操作ボタン



ベッドから起き上がる時に  
使用します。

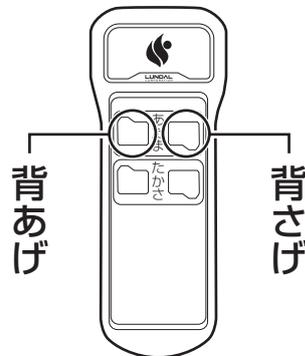
ベッドで食事や読書をする  
ときに使用します。

### 背あげ膝連動 2モーター仕様



背ボトムに連動して膝ボトムがあ  
がります。

手元スイッチ操作ボタン



背ボトムは水平から最大75度、  
膝ボトムは最大20度まであが  
ります。

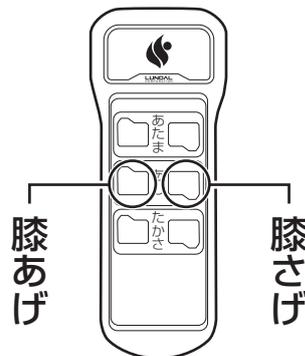
切替レバーで背あげのみと、  
連動の切替ができます。

### 膝あげ 3モーター仕様



膝ボトムを調整します。  
(水平から最大40度)

手元スイッチ操作ボタン



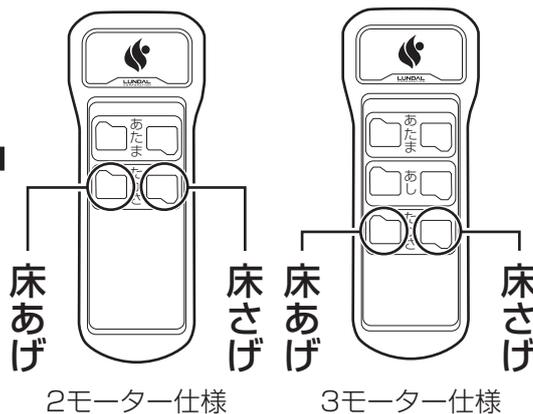
背あげを行う場合、先に膝ボ  
トムをあげておくと体全体  
がかかと側にずれることを  
防ぎます。

### 床あげ 2, 3モーター仕様



ベッドの高さを調整します。  
(床からボトムまでの高さを  
30から60cmの間で調整  
します。)

手元スイッチ操作ボタン



ベッドから立ちあがるとき  
や、車いすに乗り移るときに  
高さを調節することができます。

介護しやすい高さに調節す  
ることができます。

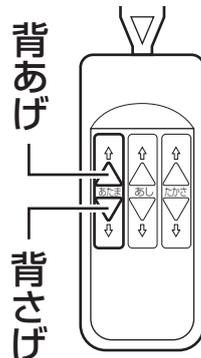
## ● 手元スイッチ：TYPE-B

### 背あげ 3モーター仕様



背ボトムの角度を調整します。  
(水平から最大75度)

手元スイッチ操作ボタン



ベッドから起き上がるときに使用します。

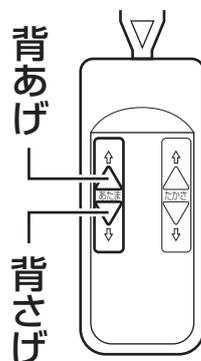
ベッドで食事や読書をするときに使用します。

### 背あげ膝連動 2モーター仕様



背ボトムに連動して膝ボトムがあがります。

手元スイッチ操作ボタン



背ボトムは水平から最大75度、膝ボトムは最大20度まであがります。

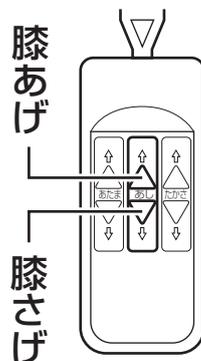
切替レバーで背あげのみと、連動の切替ができます。

### 膝あげ 3モーター仕様



膝ボトムの角度を調整します。  
(水平から最大40度)

手元スイッチ操作ボタン



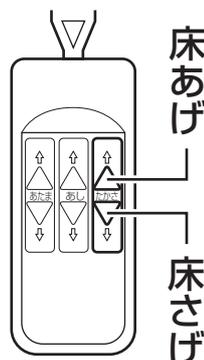
背あげを行う場合、先に膝ボトムをあげておくと体全体がかかと側にずれることを防ぎます。

### 床あげ 2, 3モーター仕様



ベッドの高さを調整します。  
(床からボトムまでの高さを30から60cmの間で調整します。)

手元スイッチ操作ボタン

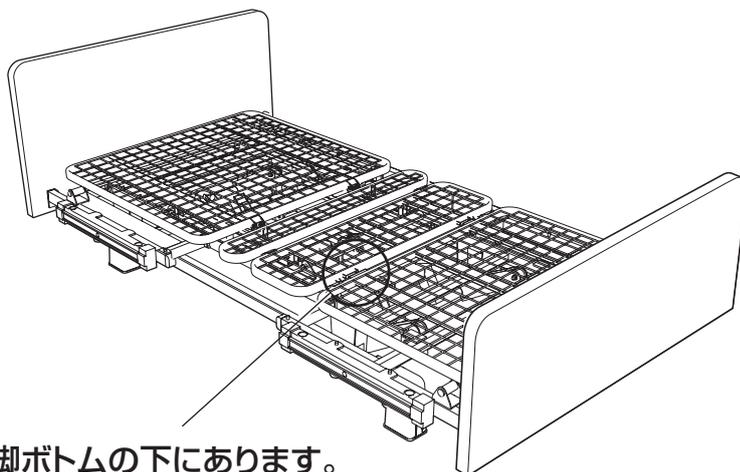


ベッドから立ちあがるときや、車いすに乗り移るときに高さを調節することができます。

介護しやすい高さに調節することができます。

## ■ 背・膝ボトム連動切り替えについて

ハイロー2モーターベッド仕様では、膝ボトムは背ボトムと連動してあげ・さげ（最大20度）することができます。また、切り替えレバーで背ボトムのみをあげ・さげに切り替えることができます。切り替えレバーは膝・脚ボトムの下にあります。

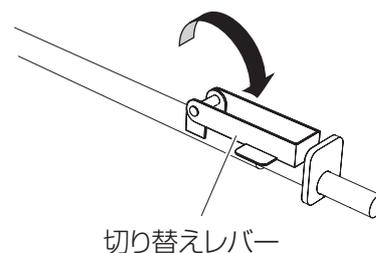
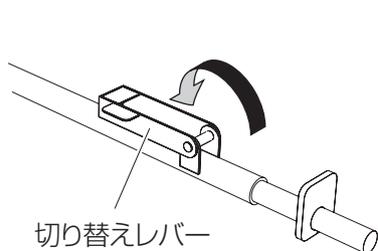


膝・脚ボトムの下にあります。

① 膝・脚ボトムを起こすと下図の切り替えレバーがあります。

切り替えレバーが頭側に倒れているときは背・膝連動は解除されています。

切り替えレバーが脚側に倒れているときは背・膝が連動します。



レバーを切り替える際は必ず背ボトムが完全に降りていることを確認してください。

## ■ 日常のお手入れ

### ⚠ 注 意

ベッドをお手入れするときは、誤動作による事故を防止するため、電源プラグをコンセントからはずして行います。

### ⚠ 警 告

ベッドに水やお湯をかけて掃除しないでください。ショートして感電の恐れがあります。

### ⚠ 注 意

シンナー・ベンジンなどの揮発性の高い薬品は絶対に使用しないでください。



#### ● ベッド・サイドレール・介護バーなどのお手入れ

水で薄めた中性洗剤に布を浸し、よく絞ってから汚れを拭き、乾いた布でよく拭き取ります。シンナー・ベンジンなどの揮発性の高い薬品は絶対に使用しないでください。

#### ● マットレスお手入れ

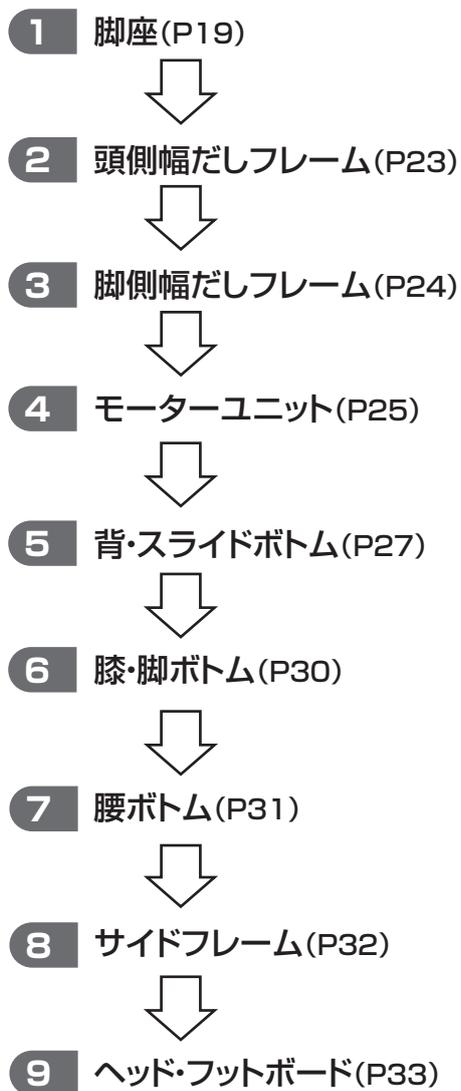
使用の状態に応じて2週間から4週間に一度、ベッドから降ろし風通しの良いところで陰干してください。

#### ● ネジ類のゆるみの点検

サイドフレームのノブボルトなど、取り付けネジがゆるんでいないか時々点検してください。ゆるんでいるネジは締めるようにしてください。

# 5. 組み立てガイド

---



## 6. 組み立てる前の準備

### ⚠ 注意

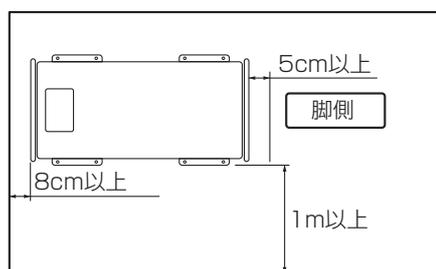
ベッドを組み立てるときは、誤動作による事故を防止するため、電源プラグをコンセントからはずして作業を行います。ただし、必要に応じてベッドを稼働させる必要があるときは、組み立て手順の指示に従い電源プラグをコンセントに差し込んでください。

ベッドを組み立てるときは、各部品の駆動部に指などを挟まないように注意してください。



- 組み立ては必ず大人2名以上で行ってください。
- ベッドは一度組み立てると移動させることが困難です。

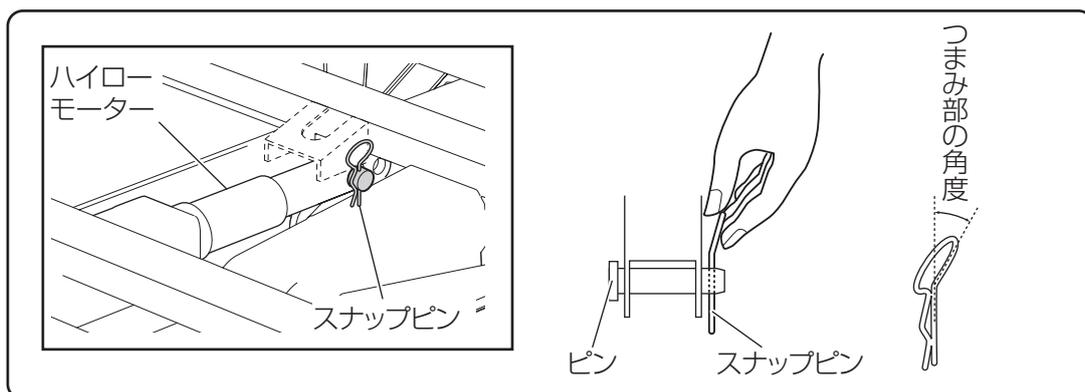
ベッドを利用される方が車いすに乗り降りする場合、ベッドの横に車いすを横付けできるスペースを確保してください。また、介護の方がベッドの周りで介護するためのスペースなども十分に確保してベッドを設置してください。ベッドと壁の間隔については下の図を参照して設置を行ってください。



- ベッドは電動操作で動きます。背・膝上げ操作、特に高さ方向においては、ベッドが動くにつれ高さ寸法が増えていくので、ベッド周辺の家具および構造物の一部に当たらないようにしてください。



- スナップピンには着脱しやすいように、つまみ部に角度が設けてあります。取り付け時にはこの部分が外側へ向くようにしてください。



# フ. リバティー彩ベッドシリーズ・ニューリバティー（棚付）・ベスティー棚付ベッドシリーズの組み立て方法

## ■ パッケージごとの内容物と付属品

ベッドを組み立てる前に以下の部品がすべてそろっていることを確認してください。確認する際は部品を各パッケージごとに分けておくと組み立ての際に便利です。

### 1 ハイローユニット

ハイローユニット

脚パッド

樹脂カバー

脚座    プッシュリベット    マット止め(小)    本書

ネジセット

HB・RB・YB  
ハイロー共通

RB・YB  
ニューベスティー  
リバティー専用

### 2 幅だしフレーム

頭側幅だしフレーム    脚側幅だしフレーム

### 3 モーターユニット

モーターユニット

### 4 ボトムユニット

背・スライドボトム    腰ボトム

膝・脚ボトム

### 5 サイドフレーム

サイドフレーム

※彩ベッドシリーズではオプションになります。

### 6 ヘッド・フットボード

シリーズによってヘッド・フットボードが異なります。

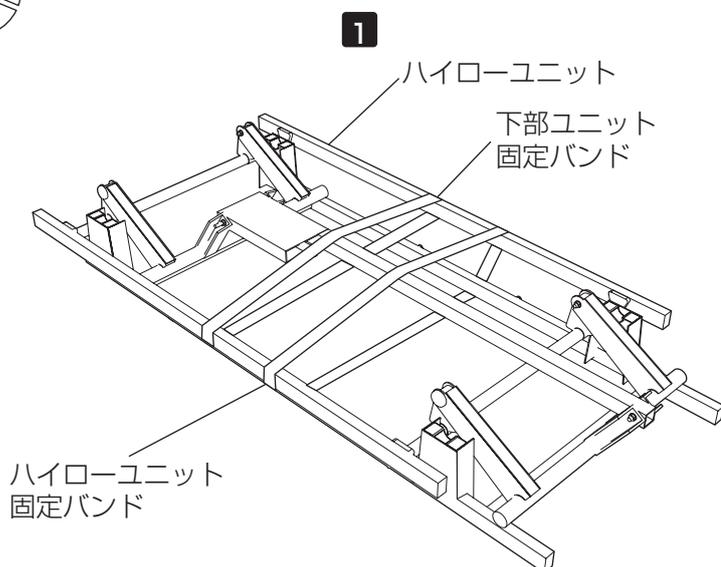
【リバティー彩】

【ニューリバティー】

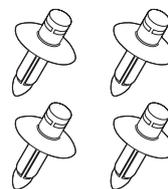
【ニューベスティー棚付】

【ニューリバティー棚付】

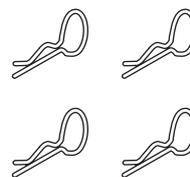
# 1 脚座を取り付けます



## 1 リベット



プッシュリベット



スナップピン



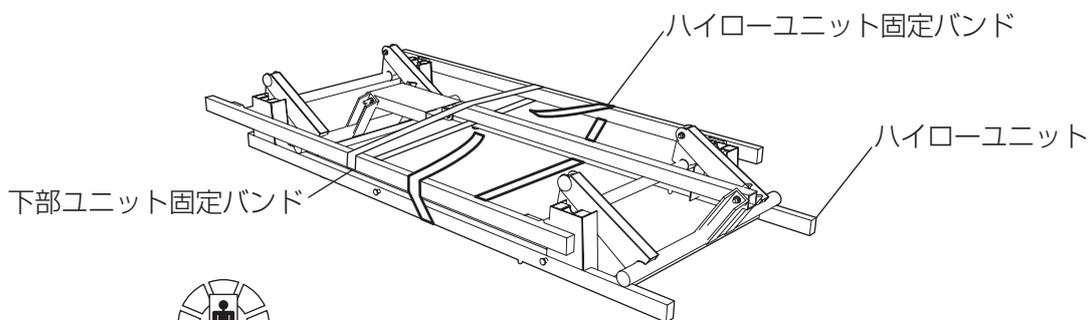
ハイローユニットを梱包状態のまま箱から取り出し、組み立てをはじめてください。ハイローユニットおよび下部ユニットを固定している固定バンドは指示があるまで取り外さないでください。



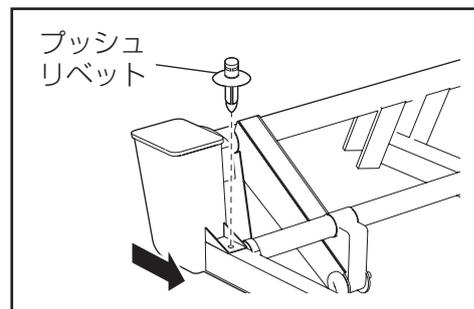
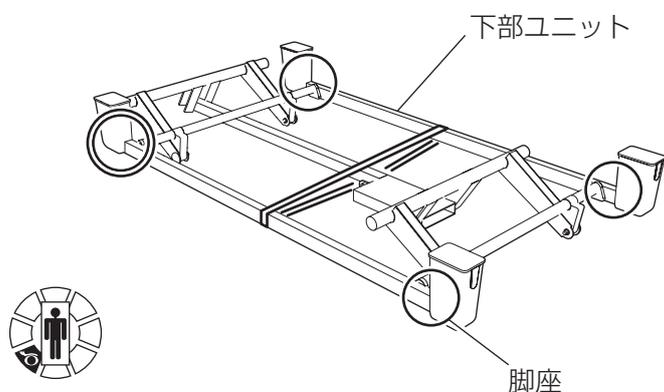
120巾仕様・キャスター仕様・低床仕様をお買いあげ、またはレンタルのお客様は、それぞれの部品に添付しております説明書をご参照ください。

- ① ハイローユニットを梱包状態のまま取り出し、ハイローユニットを固定しているバンドを切断します。バンドを切断したら、上部ユニット、下部ユニットに分離します。この時、下部ユニット固定バンドは切断しないでください。

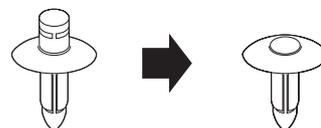
(ここでは全て組上がった時に上になるものを上部ユニット、下になるものを下部ユニットとします。)



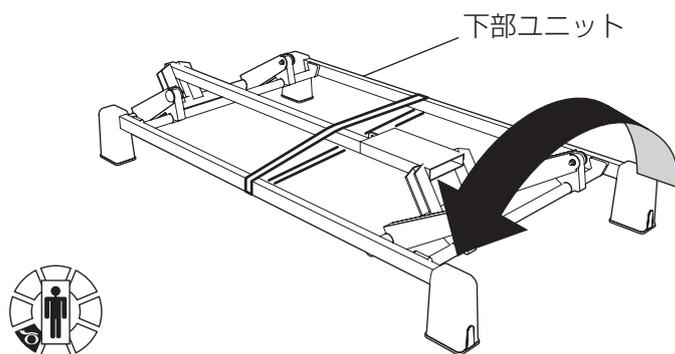
- ② 脚座をさかさまの状態下部ユニットに4カ所取り付けます。脚座はプッシュリベットで固定してください。



((( ))) プッシュリベットはしっかりと押し込みます。  
ポイント



- ③ 全ての脚座を取り付けたら下部ユニットを裏返します。



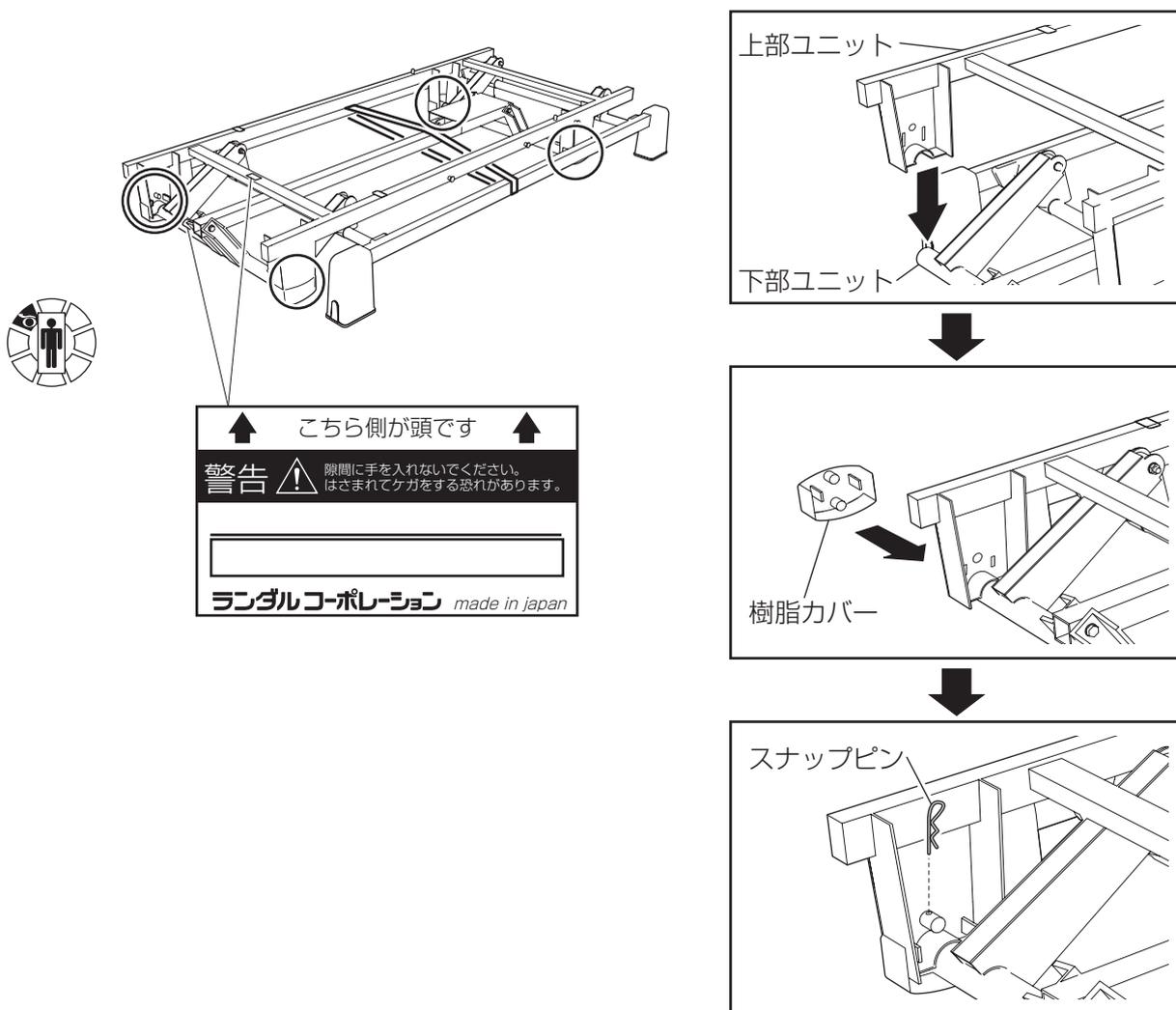
- ④ 下部ユニットに上部ユニットを取り付けます。樹脂カバーに取り付けてあるスナップピンを抜き取り、上部ユニット、下部ユニットの接合部分（側面 4 カ所）に樹脂カバーをしっかりと奥まで差し込みます。樹脂カバー取り付け後、スナップピンで樹脂カバーを固定します。



上部ユニットおよび下部ユニットには頭側を識別するラベルが貼ってあります。取り付け時には設置する方向を確認し、それぞれの向きを合わせて組み立てを行ってください。（梱包状態では上部ユニットと下部ユニットの頭側と脚側が反対方向に梱包されています。）



樹脂カバーの取り付けはつまみの部分が「カチッ」と音がするまでしっかりと差し込みます。



## 警告

樹脂カバーは奥まで差し込み、裏側からスナップピンを使用して確実に固定してください。固定が不完全な場合、故障や事故のおそれがあります。

⑤ ベッドを使用する位置にハイローユニットを設置します。



ベッドは組み立てが完了すると、重量があるため簡単に移動できません。あらかじめベッドを使用する位置にハイローユニットを設置してから組み立てを行いましょう。



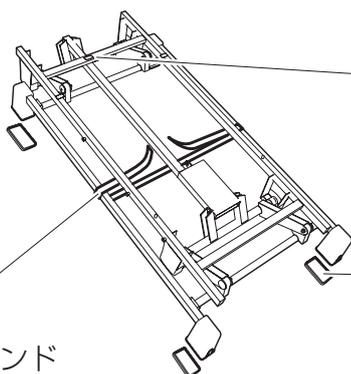
## 警告

ベッドは組み立てが完了するとおおよそ 90 ~ 100kg となります。ベッドを設置する床の耐荷重に注意してください。

⑥ 下部ユニット固定バンドを外します。



ハイローユニットには頭側を識別するラベルが貼ってあります。設置する方向を確認して組み立てを行ってください。脚座をさかさまの状態下部ユニットに 4 力所取り付けます。脚座はプッシュリベットで固定します。



下部ユニット固定バンド



脚パッド



畳やじゅうたんなどの上で長期で使用する場合は、脚座またはキャスターの下に付属の脚パッドを敷いてください。ゆかのへこみ、キズつきを軽減することができます。



## 注意

塩化ビニル系のゆかでの使用はやめてください。

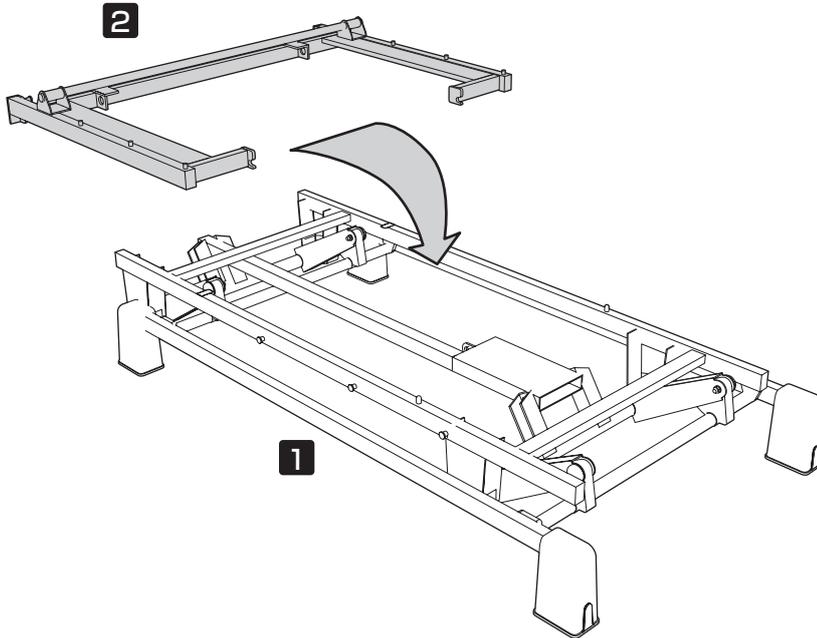
ゆか材に脚パッドの色が移り、ゆかを汚す可能性があります。



## 警告

- 脚座ゴムシートの表面は必ず拭いてください。そのまま使用すると、ベッドに寄りかかったり乗り降りする際にベッドが滑って、思わぬけがをすることがあります。
- 脚座ゴムシートが確実に設置され、ベッドが安定していることを確認してください。安定しない状態で使用すると、思わぬけがや破損の原因となります。

## 2 頭側幅だしフレームを取り付けます



### 1 ハイロー共通

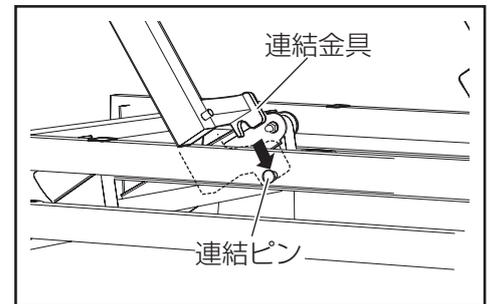
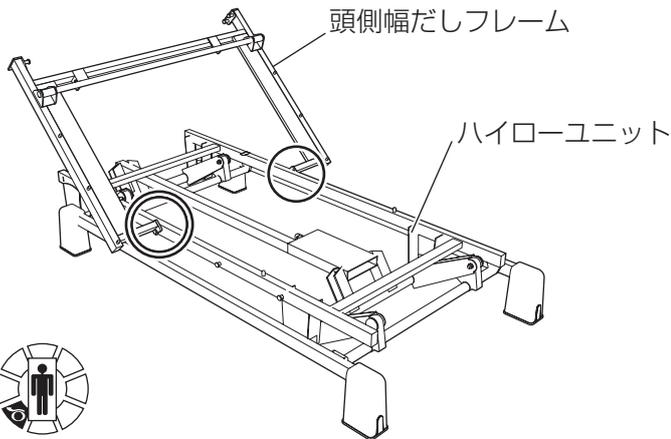


連結ピン



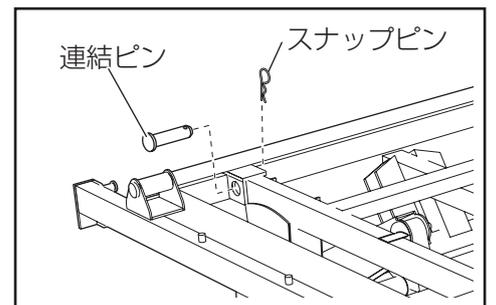
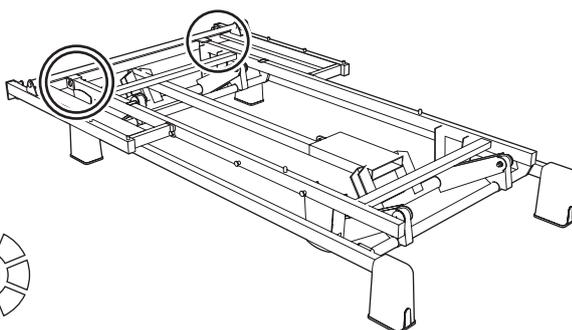
スナップピン

① ハイローユニットの2カ所の連結ピンに頭側幅だしフレームの連結金具をはめ込みます。

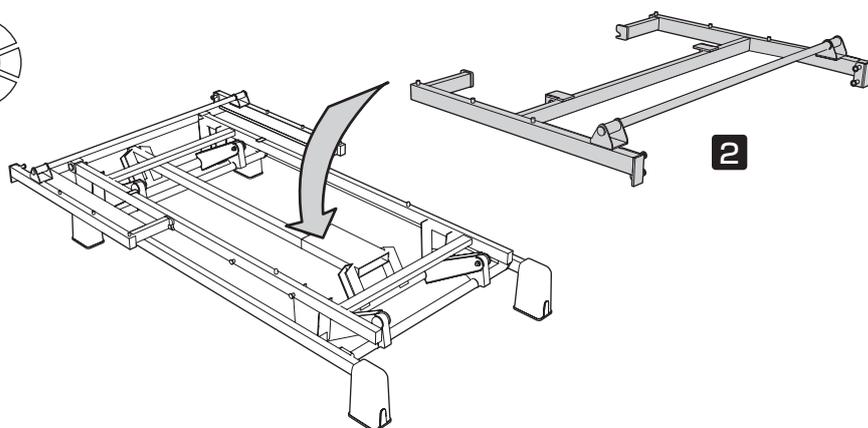


② ①の状態のまま、ハイローユニットに頭側幅だしフレームを静かに倒します。

③ 頭側幅だしフレームとハイローユニットの連結部2カ所に連結ピンを差し込み、スナップピンで固定します。



### 3 脚側幅だしフレームを取り付けます



#### 1 ハイロー共通



連結ピン

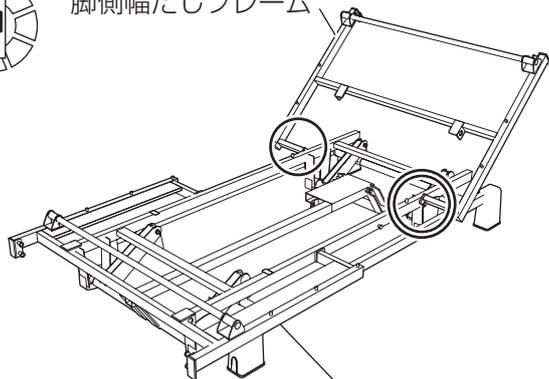


スナップピン

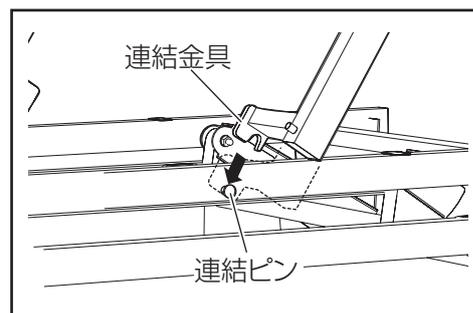
① ハイローユニットの2カ所の連結ピンに脚側幅だしフレームの連結金具をはめ込みます。



脚側幅だしフレーム



ハイローユニット

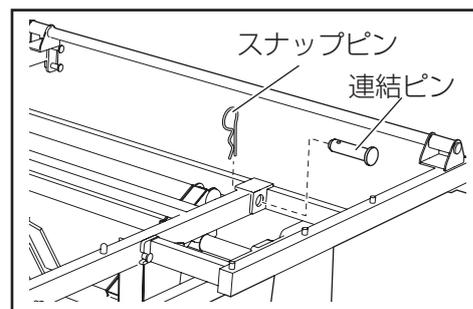
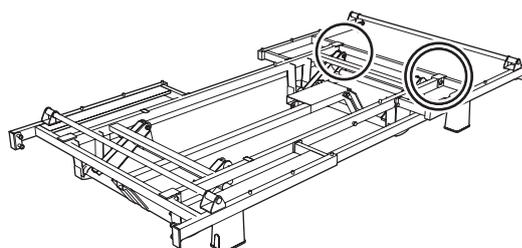


連結金具

連結ピン

② ①の状態のまま、ハイローユニットに脚側幅だしフレームを静かに倒します。

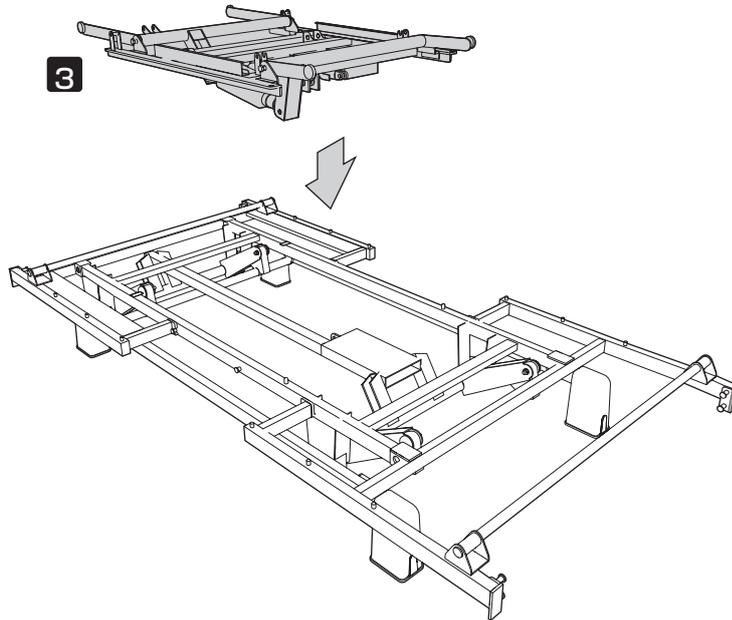
③ 脚側幅だしフレームとハイローユニットの連結部2カ所に連結ピンを差し込み、スナップピンで固定します。



スナップピン

連結ピン

## 4 モーターユニットを取り付けます

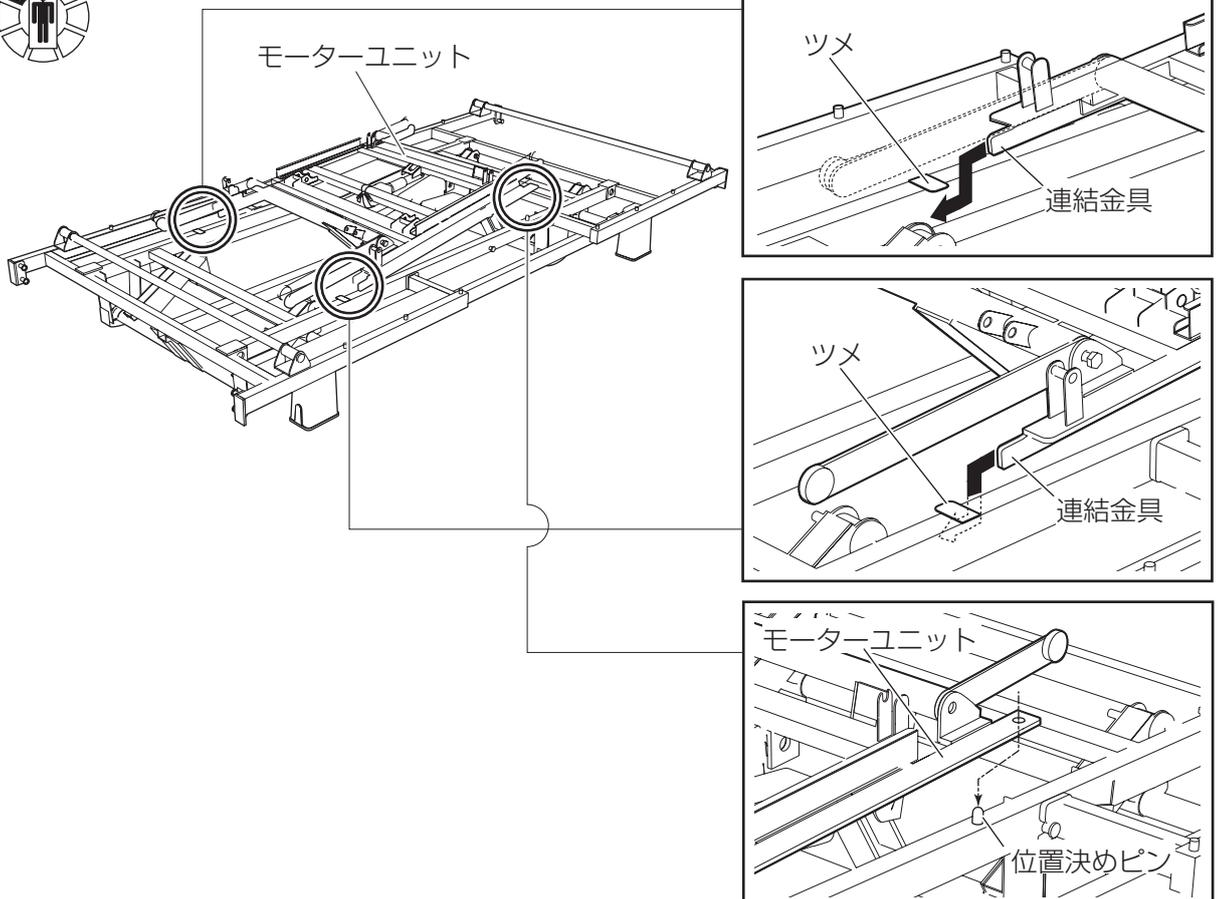


### 1 ハイロー共通

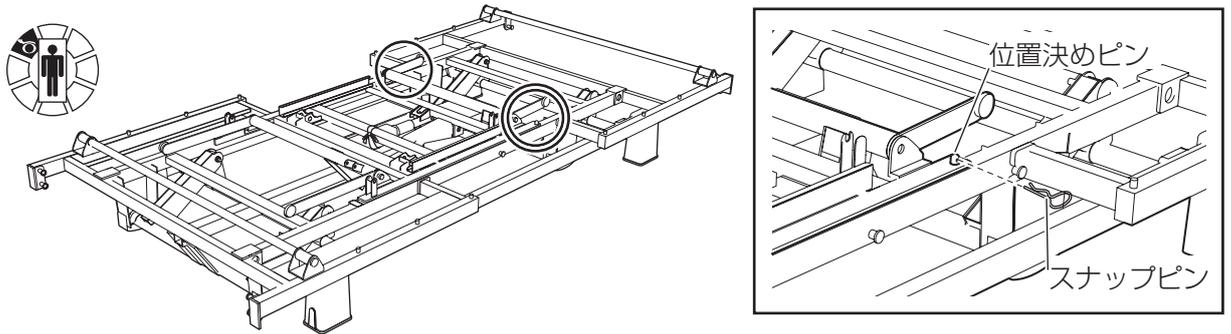


スナップピン

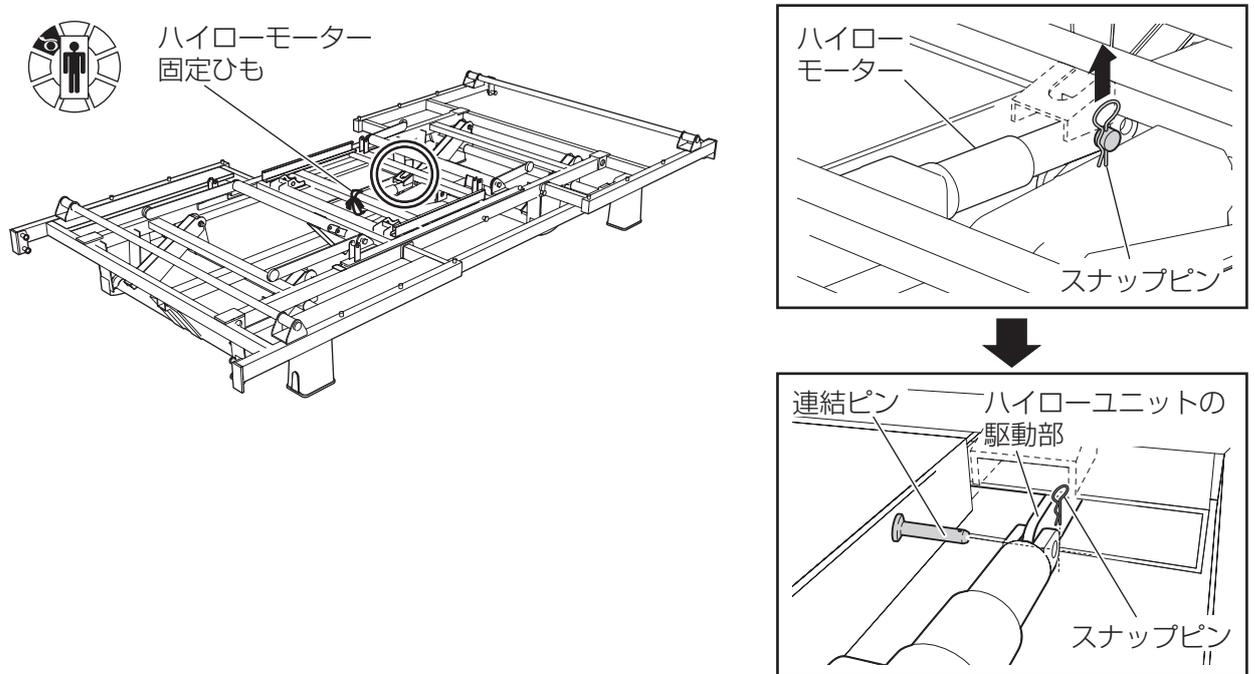
- ① モーターユニットの連結金具をハイローユニットのツメの内側にはめ込み、ハイローユニットの2カ所の位置決めピンにモーターユニットのフレームの穴があうように静かに降ろします。



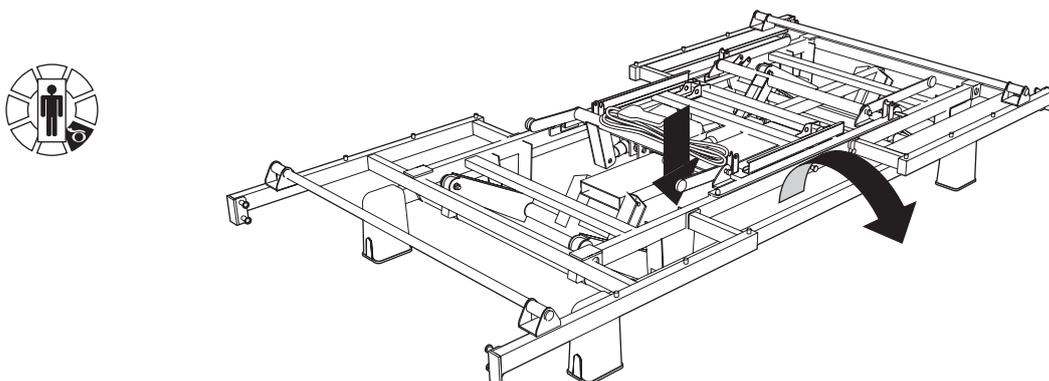
② 2カ所の位置決めピンにスナップピンを差し込み固定します。



③ ハイローモーターを固定しているひもを外します。ハイローモーター先端の連結ピンのスナップピンを抜き取り、連結ピンを引き抜きます。この連結ピンでハイローモーターとハイローユニットの駆動部を連結しスナップピンで固定します。



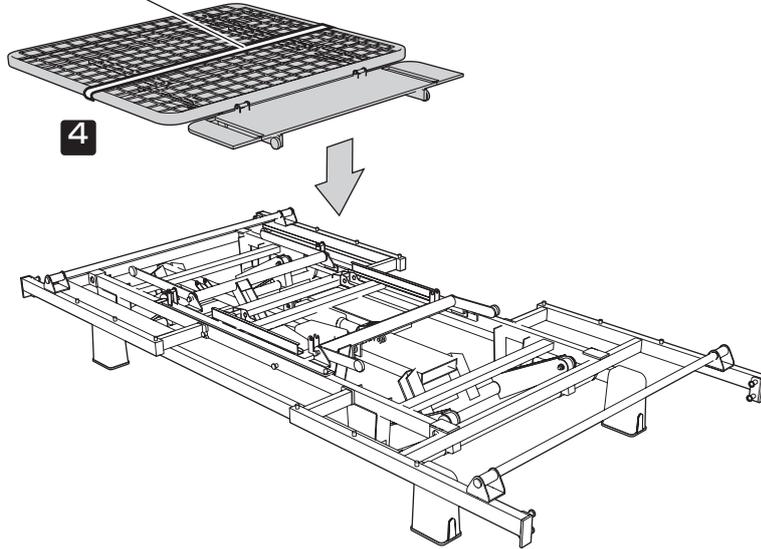
④ 電源ケーブル・手元スイッチが固定されているひもを解き、モーターユニットの下に通し、モーターユニットとハイローユニットの間に通します。



## 5 背・スライドボトムを取り付けます



背スライドリンクステー  
固定バンド



1 ハイロー共通



スナップピン

1 ニューベスティー  
リバティー専用

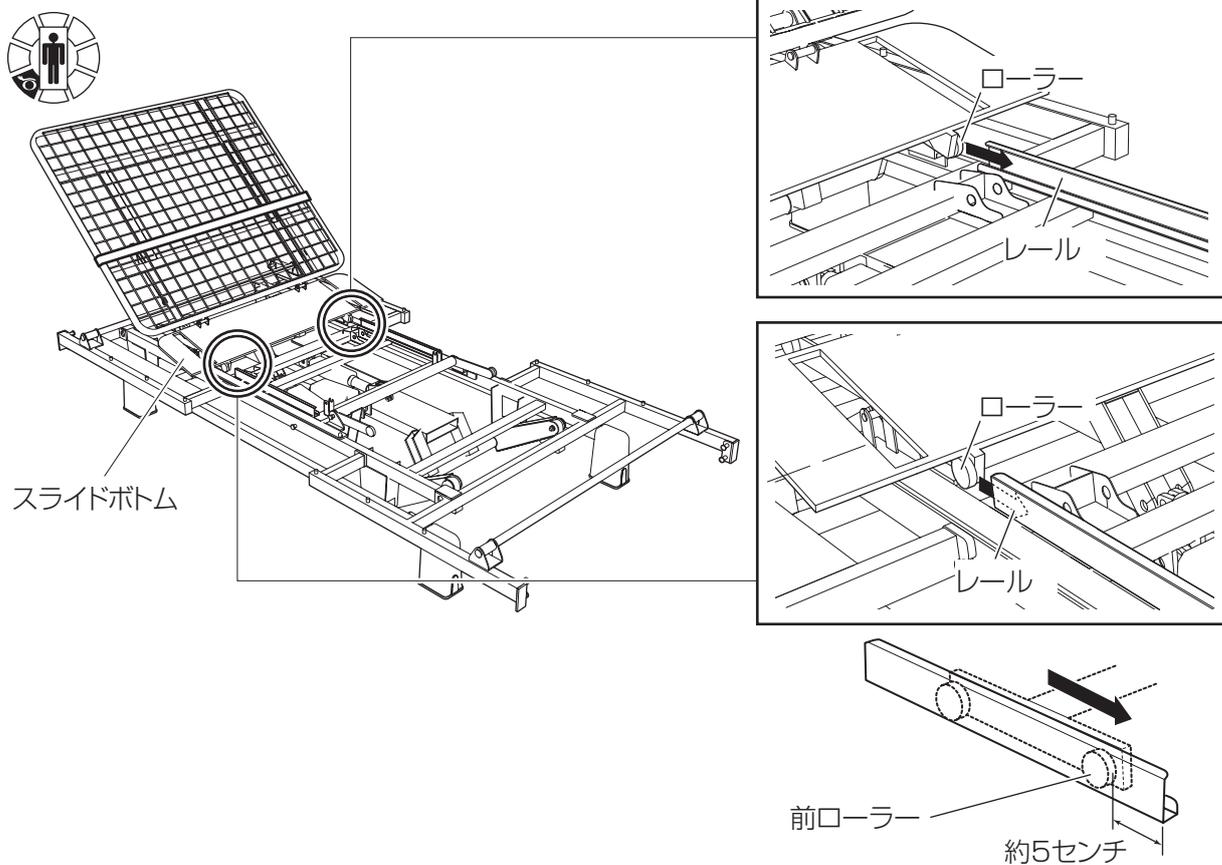


連結ピン



背スライドリンクステーの固定バンドは指示があるまで取り外さないでください。

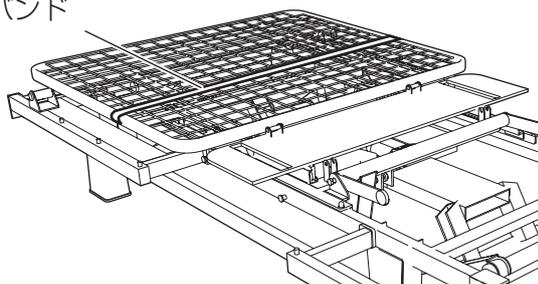
- ① スライドボトムのローラーをモーターユニットの2カ所のレールに頭側からはめ込みます。  
前ローラーはレールの端から約5センチの位置まで進めてください。



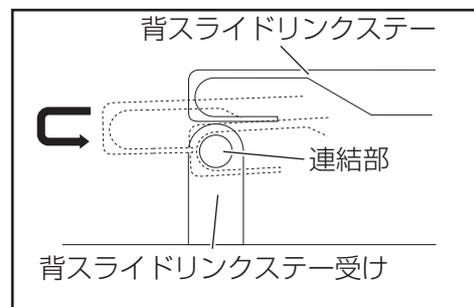
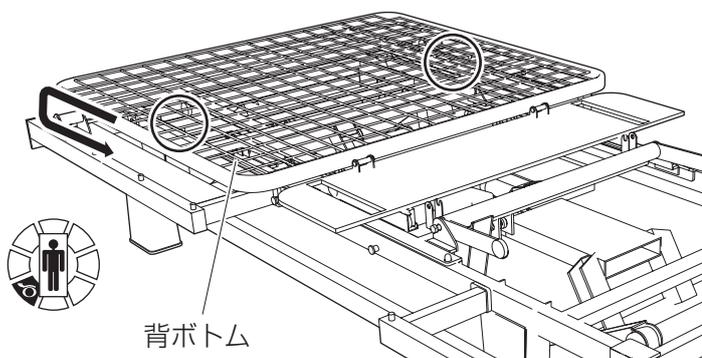
- ② 背スライドリンクステーの固定バンドをはずします。



背スライドリンクステー  
固定バンド



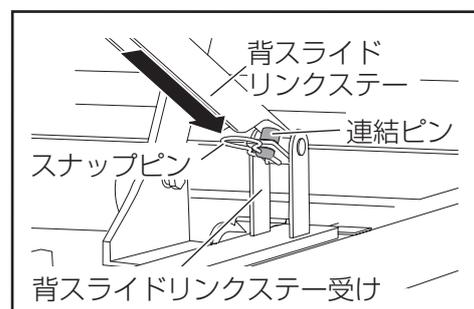
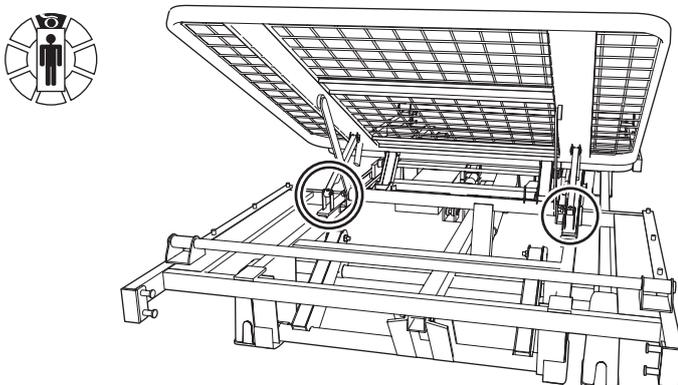
- ③ 背ボトムをベッドの頭側に 10 センチ移動させもとの位置に戻すと、背スライドリンクステーが背スライドリンクステー受けの連結部にはまります。この状態で背ボトムをもとの位置に戻します。



- ④ 電源プラグをコンセントに差し込み、手元スイッチで背ボトムを約 30 度の角度に起こします。（操作方法は「4. 日常の使用方法和操作」を参照してください。）
- ⑤ 電源プラグをコンセントから抜きます。
- ⑥ 背スライドリンクステーが背スライドリンクステー受けに連結していることを確認し、連結部 2 カ所に連結ピンを差し込み、図のようにスナップピンが背スライドリンクステーと平行になるように取り付けます。

## ⚠ 注意

スナップピンは背スライドリンクステーと必ず平行になるように取り付けてください。誤った取り付け方をするとベッドを破損するおそれがあります。

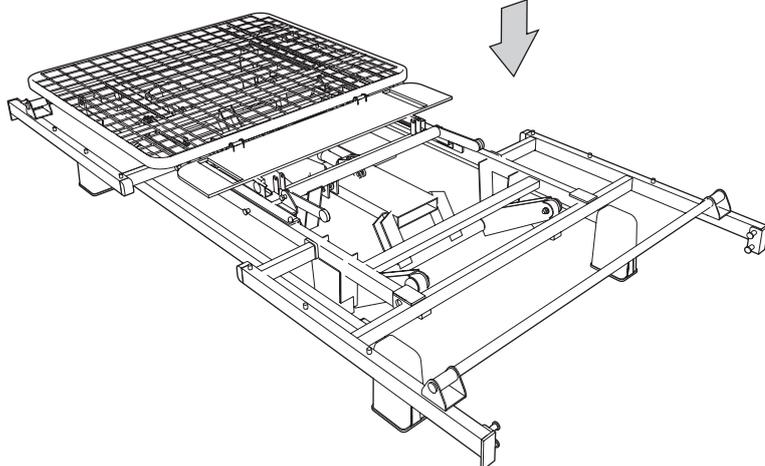


- ⑦ 電源プラグをコンセントに差し込み、手元スイッチで背ボトムを最低位置まで下げます。
- ⑧ 電源プラグをコンセントから抜きます。

## 6 膝・脚ボトムを取り付けます



4



1 ハイロー共通

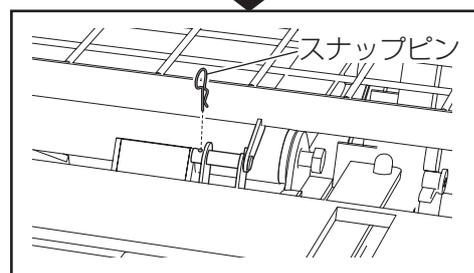
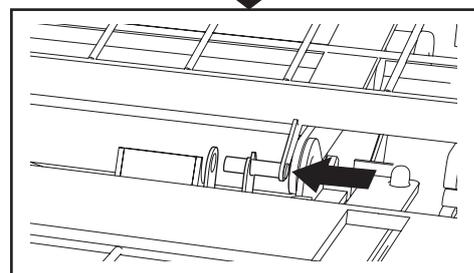
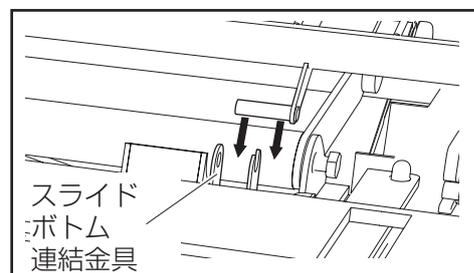
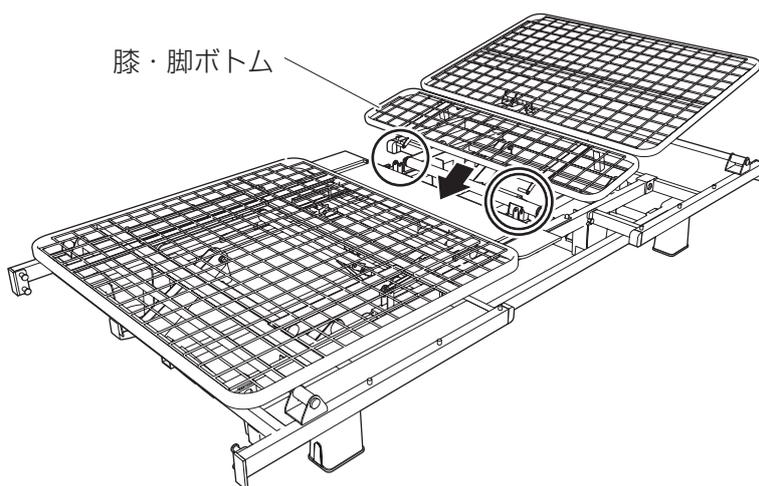


スナップピン

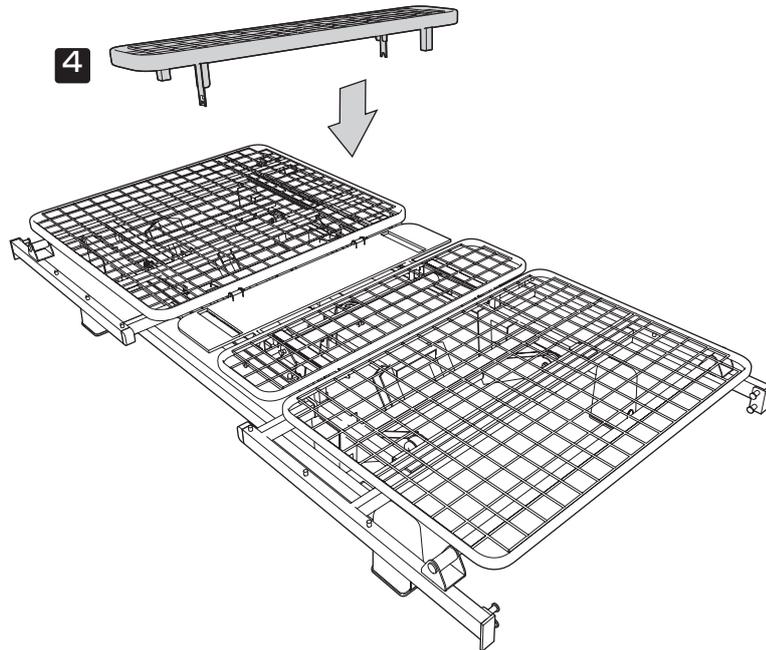
- ① スライドボトムの左右の連結金具の切り欠きを利用して、膝・脚ボトムの連結金具を差し込み、膝・脚ボトムをスライドさせます。スライドさせた後、膝・脚ボトムの連結金具にスナップピンを差し込み固定します。



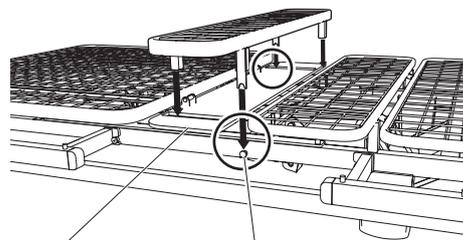
膝・脚ボトム



## 7 腰ボトムを取り付けます

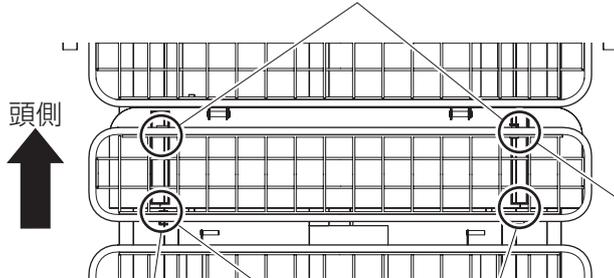


- ① 腰ボトムにある2カ所の着脱金具のロック金具を解除し、ハイローユニットに連結します。このとき腰ボトム着脱金具は、ハイローユニットの2カ所の連結ピンに連結します。連結が完了したら、腰ボトム着脱金具をもとのロック位置へ戻します。



スライドボトム 連結ピン

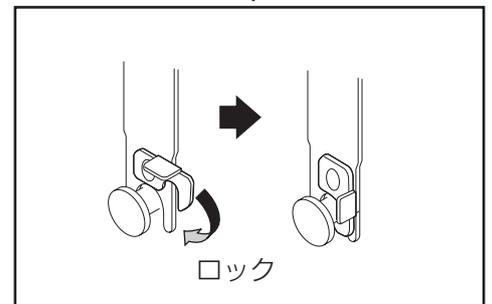
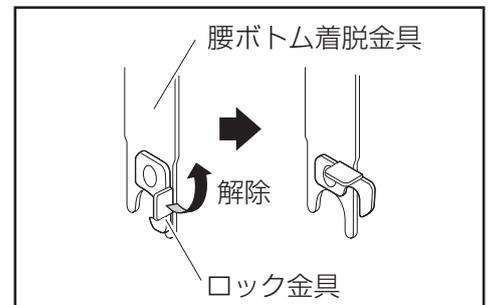
スライドボトムの穴を通し連結します。



腰ボトム着脱金具  
(ハイローユニットの連結ピンと連結)

スライドボトムの外を通し連結します。

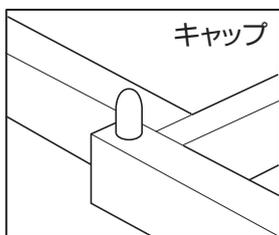
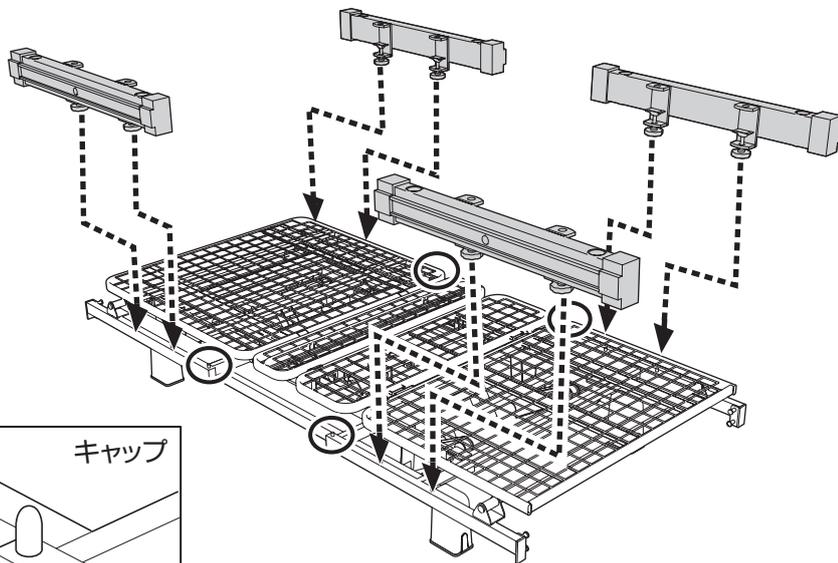
腰ボトム着脱金具  
(ハイローユニットの連結ピンと連結)



## 8 サイドフレームを取り付けます ※ 彩ベッドシリーズではオプションになります。



下図の位置に取り付けてください。○部分のキャップが付いている箇所は、サイドフレームを取り付けることはできません。

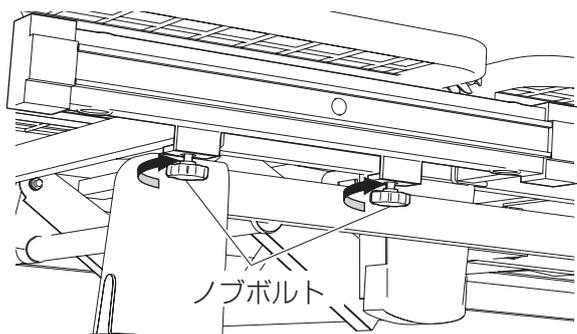
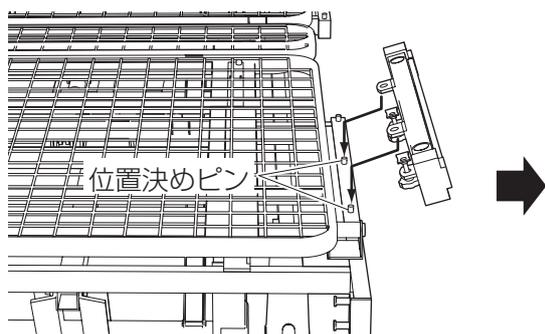


ショートサイズベッドのあし側の幅出しフレームには、キャップは付いていません。

- ① ハイローユニットの位置決めピンにサイドフレームの位置決め穴をはめ込み、2カ所のノブボルトを締めます。



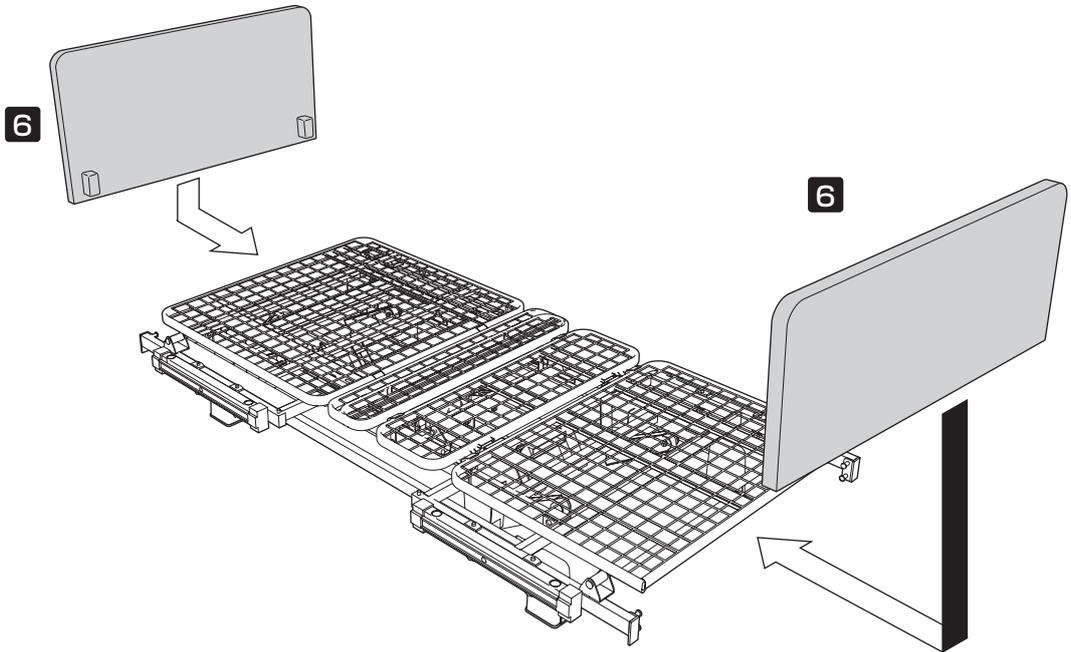
ノブボルトは搬送時の破損を防止するため、締めた状態で出荷されています。あらかじめゆるめておいてから取り付けを行ってください。



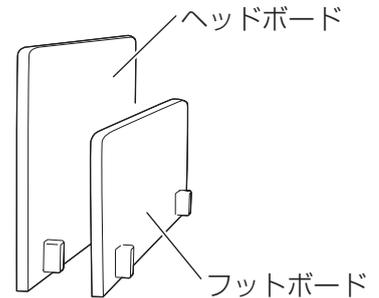
### 警告

サイドフレームを設置した後、ノブが強く締めてあるか確認をしてからベッドを使用してください。ノブがゆるんでいるとサイドフレームが外れてけがをする場合があります。

## 9 ヘッド・フットボードを取り付けます

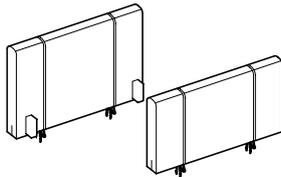


ヘッドボードとフットボードでは大きさが異なります。大きい方がヘッドボードで小さい方がフットボードとなります。

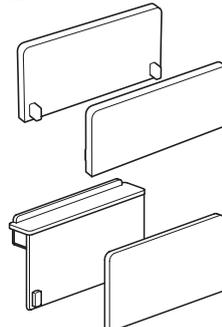


ヘッド・フットボードは、リバティー彩シリーズ、ニューリバティー（棚付）・ベスティー棚付ベッドシリーズで形が異なりますが、取り付け方法は全て同じです。（この取扱説明書でのイラストは、ニューリバティータイプシリーズとなっています。）

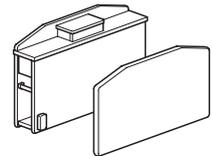
リバティー彩ベッドシリーズをお買いあげ、またはレンタルのお客様



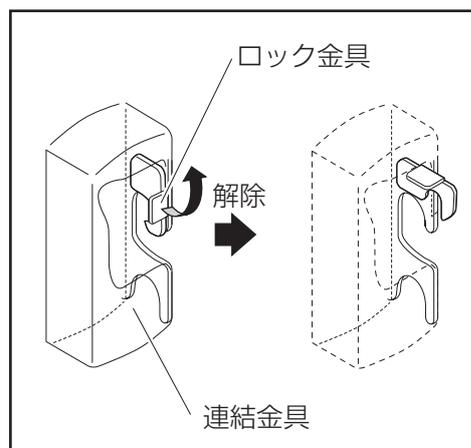
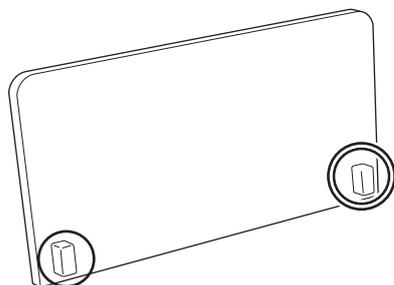
ニューリバティー（棚付）ベッドシリーズをお買いあげ、またはレンタルのお客様



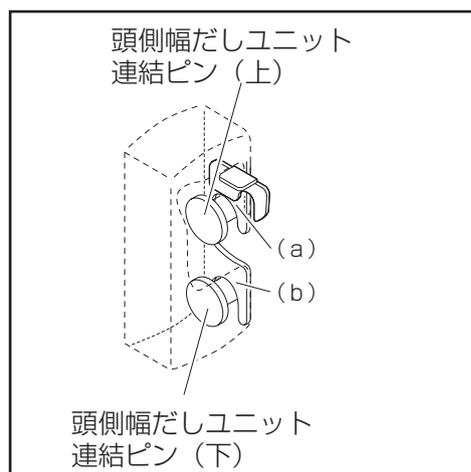
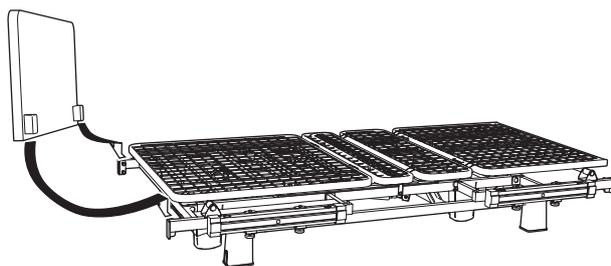
ニューベスティー棚付ベッドシリーズをお買いあげ、またはレンタルのお客様



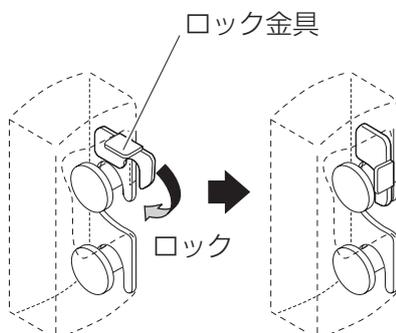
- ① ヘッドボードの連結金具 2 カ所のロック金具を解除します。



- ② 頭側幅だしフレームの連結金具 2 カ所にヘッドボードの連結金具をはめ込みます。頭側幅だしフレームの連結ピンは、上下に設置されています。連結ピンの上には (a) を連結ピンの下には (b) を連結してください。



- ③ ヘッドボードの連結金具 2 カ所のロック金具をロックします。



- ④ フットボードを取り付けます。



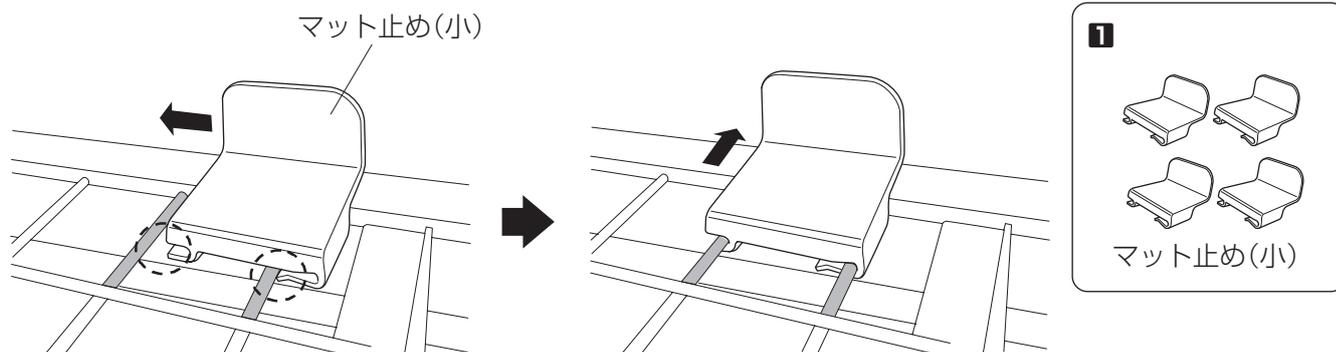
フットボードの取り付けはヘッドボードと同様です。①～③を参考にしてフットボードを脚側幅だしフレームに取り付けてください。

⑤ マット止め (小) を、下図マット止め (小) 取り付け箇所(■)に取り付けてください。

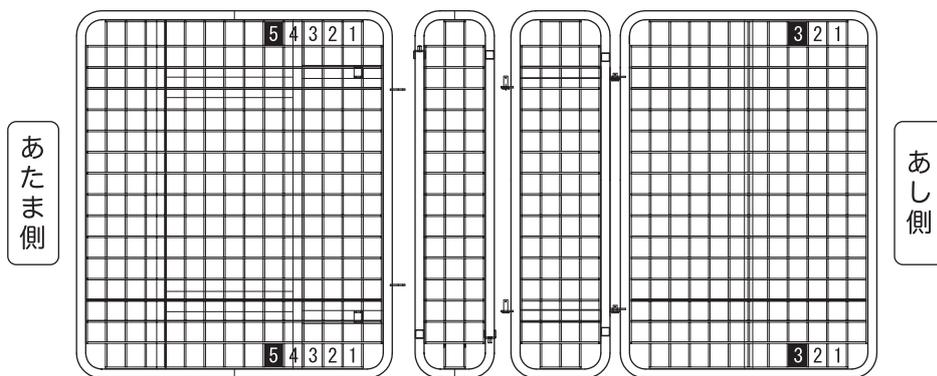


矢印方向にスライドさせて取り付けます。「カチッ」と音がするまではめ込んでください。

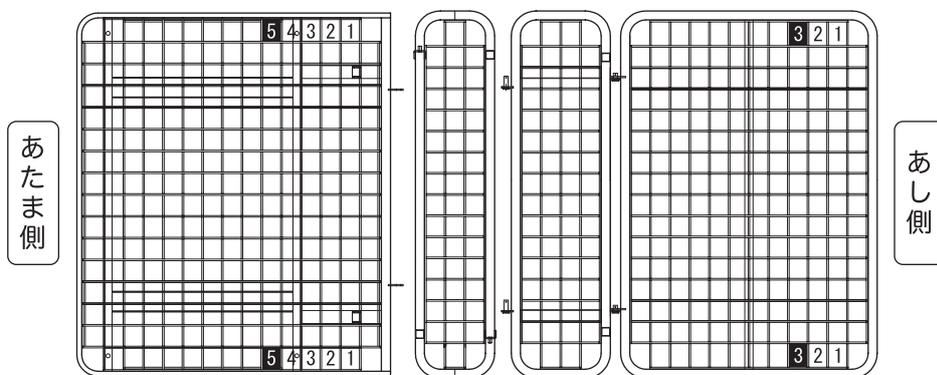
⑥ マット止め (小) のツメの奥がメッシュに当たるまでスライドさせます。



【ニューリバティー・ベスティーシリーズベッドへの取付位置】



【彩シリーズベッドへの取付位置】



マット止め(小)取り付け箇所

## ■介護リフト使用時のご注意

下記の床走行式電動介護リフトが使用できます。

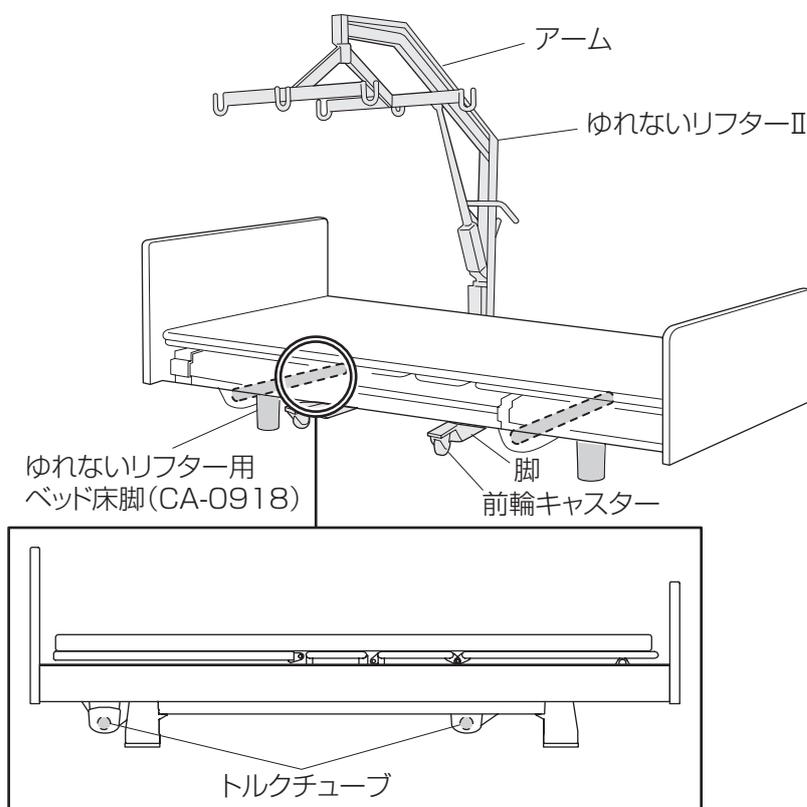
### ● ゆれないリフターⅡ



ゆれないリフターⅡに添付されている取扱説明書も必ずお読みください。



- 床走行式電動介護リフトを使用する際は、ゆれないリフター用ベッド床脚 (CA-0918) を取り付けてください。このベッドに付属の脚座またはキャスターを使用している場合、ベッドとの併用はできません。



## 警告

- ・ ベッドの背を上げるとき、およびリフターのアームを下げるときは、ベッドとリフターのアームとの間に挟まれてけがをする恐れがあります。十分注意してください。
- ・ ベッドの床を下げるときは、ハイローユニットのトルクチューブにリフターの脚や前輪キャスターをはさまないように注意してください。はさまれるとけがや破損の恐れがあります。

## 8. 組立後の点検

- ベッドの組立が終わりましたら、ベッドに人が乗っていないことを確認のうえ、このチェックシートで点検してください。(37～42ページをコピーしてお使いください。)
- 定期点検の際も、このシートを使用してください。
- 異常が認められた場合や詳しい点検をご希望される場合は、販売店または弊社営業所、サテライトまでお問い合わせください。

### 警告

組立後の点検は必ず行ってください。組立が不十分な状態で使用すると、けがや故障が発生するおそれがあります。

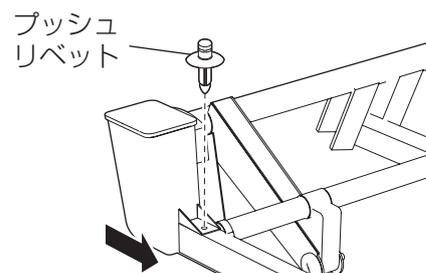
### 注意

- 手元スイッチを操作しながら点検作業をしている際に異常音や振動が生じた場合には、すぐにベッドの使用を中止し、販売店または弊社営業所、サテライト（最終ページ参照）までご連絡ください。
- キャスターやリフター脚などのオプションを使用の場合は、各製品の「取扱説明書」に従って、組立・点検を行ってください。

#### 1 脚座の取付け（4ヶ所）

ハイローユニットの4ヶ所すべてに脚座がはまり、ブッシュリベットが確実に取付けられていますか？

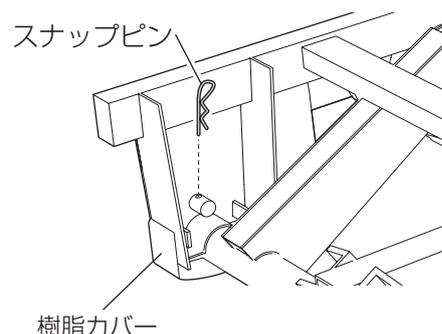
- はい
- いいえ→20ページ参照



#### 2 樹脂カバーの取り付け

樹脂カバーを取り付け後、スナップピンで樹脂カバーを固定していますか？

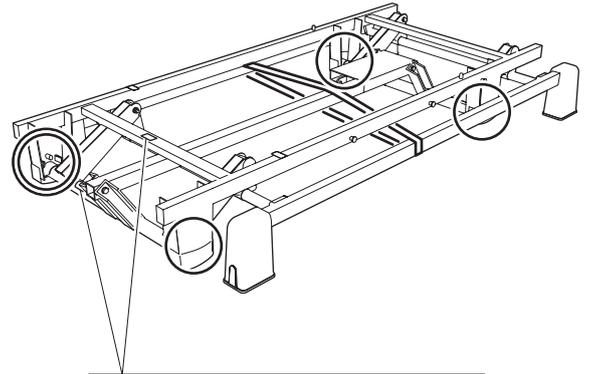
- はい
- いいえ→21ページ参照



### 3 上部ユニットと下部ユニットの取り付け

上部ユニットと下部ユニットの取り付け方向は合っていますか？

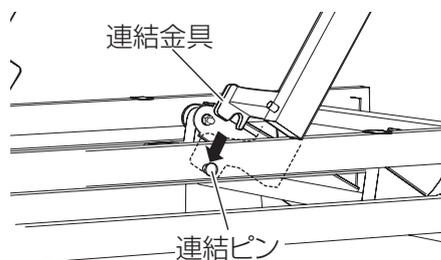
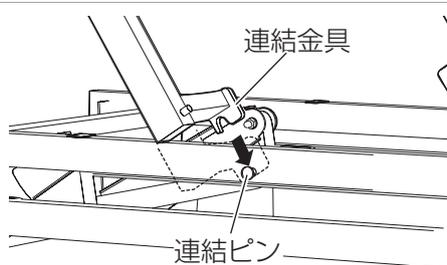
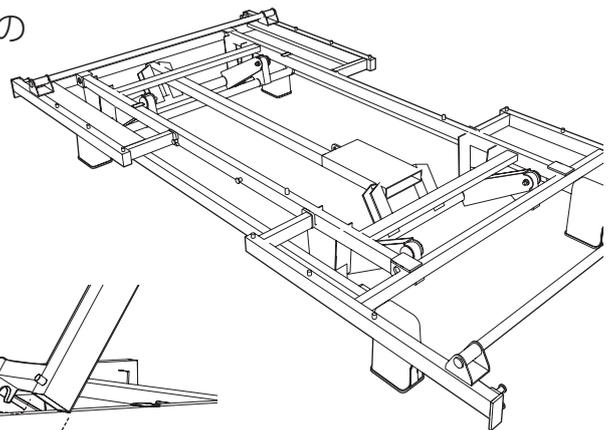
- はい
- いいえ→ 21 ページ参照



### 4 頭側・脚側幅だしフレームの取付け位置

頭側・脚側幅だしフレームがハイローユニットの2カ所の連結ピンに掛かっていますか？

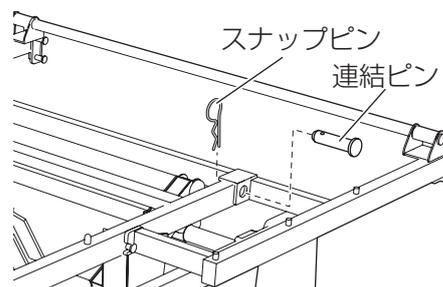
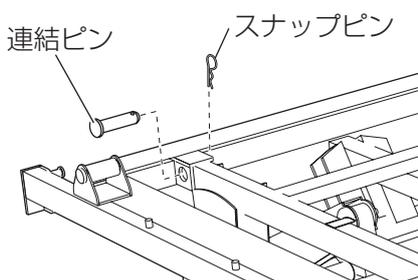
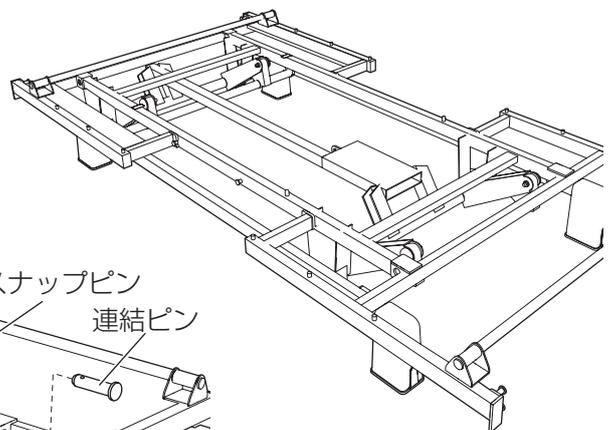
- はい
- いいえ→ 23～24 ページ参照



### 5 頭側・脚側幅だしフレームの固定

スナップピンで確実に固定されていますか？

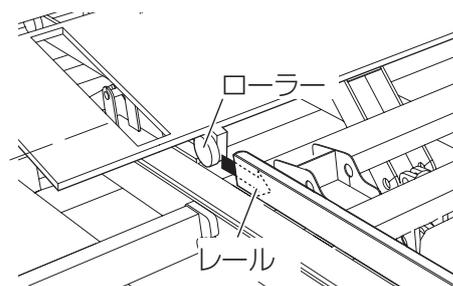
- はい
- いいえ→ 23～24 ページ参照



## 6 背ボトムを取り付け①

ローラーが、モーターユニットのレールに入り込んでいますか？

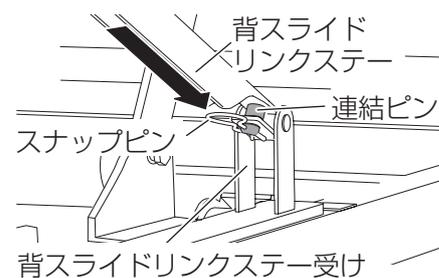
- はい
- いいえ→28 ページ参照



## 7 背ボトムを取り付け②

スナップピンが背スライドリンクステーと平行になるように取り付けられていますか？

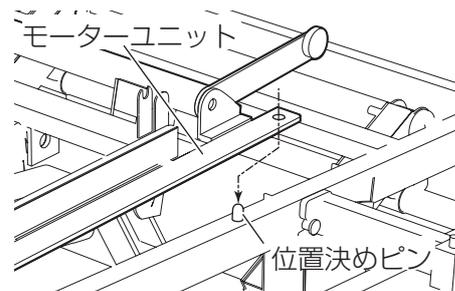
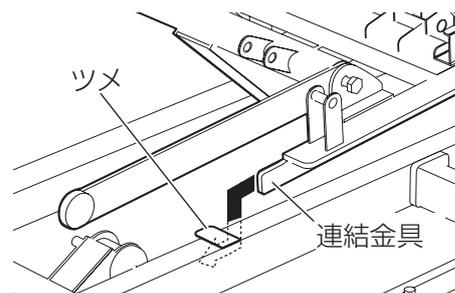
- はい
- いいえ→29 ページ参照



## 8 モーターユニットとハイローユニットの連結①

連結金具をハイローユニットのツメの内側にはめ込み、ハイローユニットの2カ所の位置決めピンにモーターユニットのフレームの穴に合っていますか？

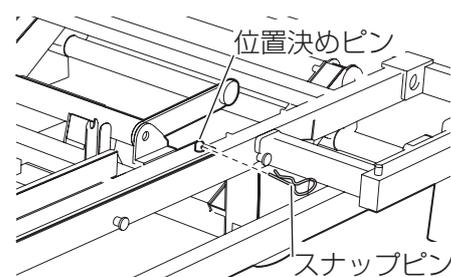
- はい
- いいえ→25 ページ参照



## 9 モーターユニットとハイローユニットの連結②

位置決めピンにスナップピンが確実に差し込まれていますか？

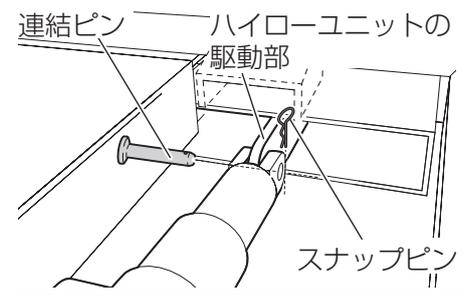
- はい
- いいえ→25～26 ページ参照



### 10 モーターユニットとハイローユニットの連結③

連結ピンにスナップピンが確実に差し込まれていますか？

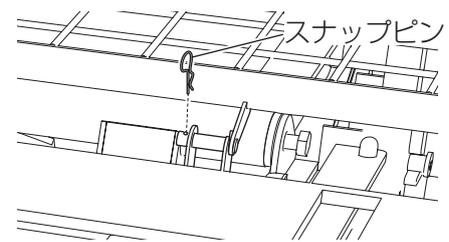
- はい
- いいえ→ 26 ページ参照



### 11 膝・脚ボトムを取り付け

膝・脚ボトムの連結金具にスナップピンが確実に差し込まれていますか？

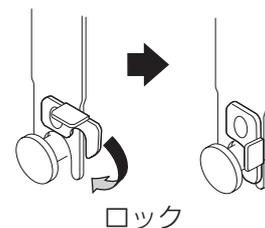
- はい
- いいえ→ 30 ページ参照



### 12 腰ボトムを取り付け

腰ボトムの着脱金具が連結ピンに確実にロックされていますか？

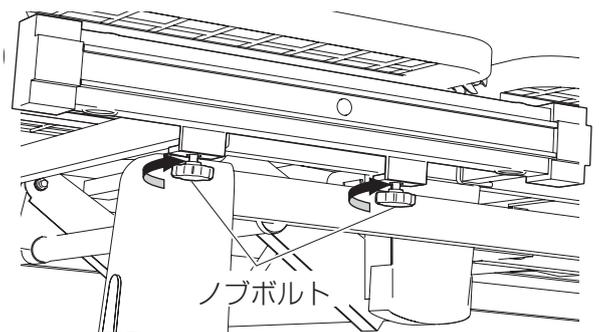
- はい
- いいえ→ 31 ページ参照



### 13 サイドフレームを取り付け

腰ボトムの着脱金具が連結ピンに確実にロックされていますか？

- はい
- いいえ→ 32 ページ参照



#### 14 マット止めの取り付け

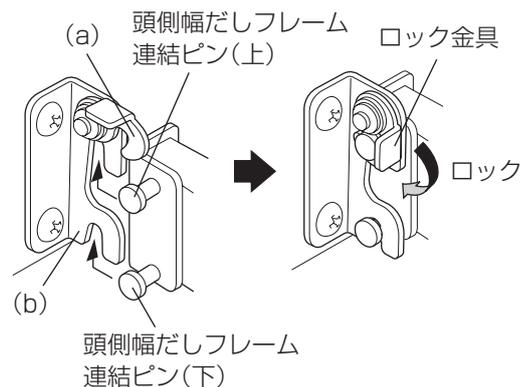
マット止め（大・小）が正しい位置に取付けられていますか。

- はい
- いいえ→ 35 ページ参照

#### 15 ヘッド・フットボードのロック

ロック金具が確実にロックされていますか？

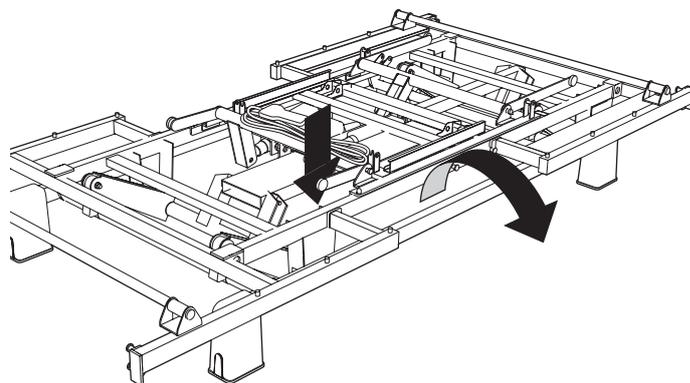
- はい
- いいえ→ 34 ページ参照



#### 16 電源ケーブルの確認

可動部の上を通過していませんか？

- はい
- いいえ→ 26 ページ参照



#### 17 手元スイッチの確認

手元スイッチ本体に傷や破損がないですか？

電源プラグをコンセントに差込むと手元スイッチのランダルマークが点灯しますか？

- はい
- 点灯せず→ 62 ページ参照

## 18 ベッド操作時の確認

手元スイッチで背上げ・膝上げ・高さ調節操作を最大まで行った際、以下の問題がありませんか？

- 異常ない
  - 異常音がする→販売店または弊社営業所・サテライトへ  
※ 場所や状態によってはお客様で注油を行うことができます。
  - ベッドが家具などにあたる→ベッドを移動するか、障害物を取り除いてください。
- 

## 19 安全ラベルのはがれ

ラベルがはがれたり、文字が見えなくなっていますか？

- いいえ
- はい（はがれている・文字が見えない）→販売店または弊社営業所・サテライトへ

## 9. 分解方法

---

ベッドを分解する前に以下の作業を行ってください。



- ベッドに装着しているオプションパーツなどがありましたら取り外します。
- 寝具、マットレスをベッドから降ろします。
- 背ボトム、膝ボトムを最低位置まで下げます。
- ベッド床高さを最低位置まで下げます。
- 電源プラグをコンセントから抜きます。



### 注 意

---

ベッドを分解するときは、誤動作による事故を防止するため、電源プラグをコンセントからはずして作業を行います。ただし、必要に応じてベッドを稼働させる必要があるときは、分解手順の指示に従い電源プラグをコンセントに差し込んでください。

ベッドを分解するときは、各部品の駆動部に指などを挟まないように注意してください。

---

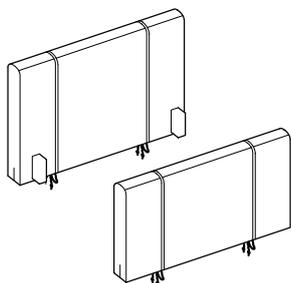
- 分解は必ず大人 2 名以上で行ってください。
- 取り外したスナップピン、連結ピン、プッシュリベットは紛失しないように袋などに入れ保管してください。

## 1 フットボード・ヘッドボードを取り外します

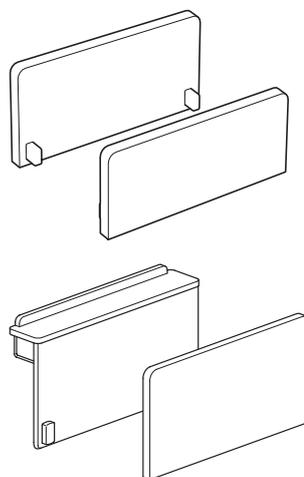


ヘッド・フットボードは、リバティー彩シリーズ、ニューリバティー（棚付）・ベスティー棚付ベッドシリーズで形が異なりますが、取り外し方法は全て同じです。（この取扱説明書でのイラストは、ニューリバティーベッドシリーズとなっています。）

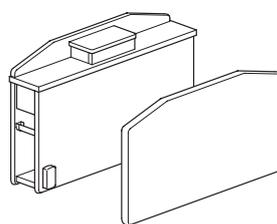
リバティー彩ベッドシリーズをお買いあげ、またはレンタルのお客様



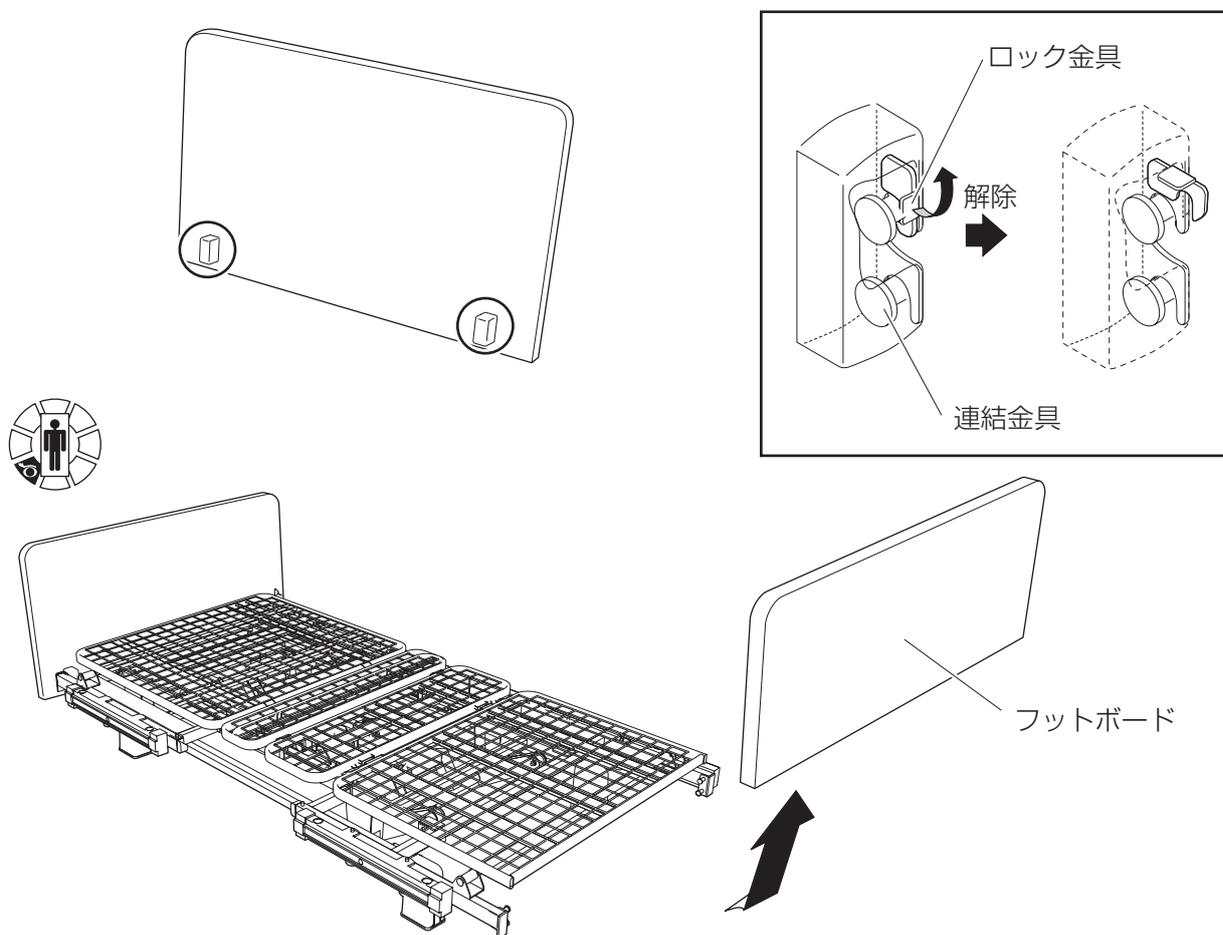
ニューリバティー（棚付）ベッドシリーズをお買いあげ、またはレンタルのお客様



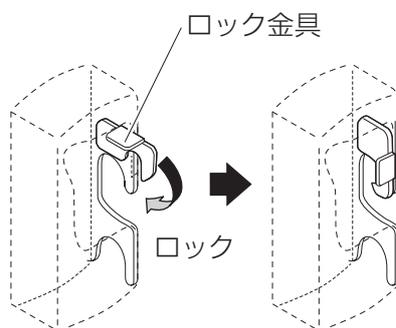
ニューベスティー棚付ベッドシリーズをお買いあげ、またはレンタルのお客様



- ① フットボードを取り外します。フットボードの2カ所の連結金具のロック金具を解除して、フットボードを斜め上方向に引き上げながら取り外します。



取り外したフットボードの連結金具の2カ所のロック金具は、搬送中の破損を防止するため、必ずロック位置に戻して梱包してください。

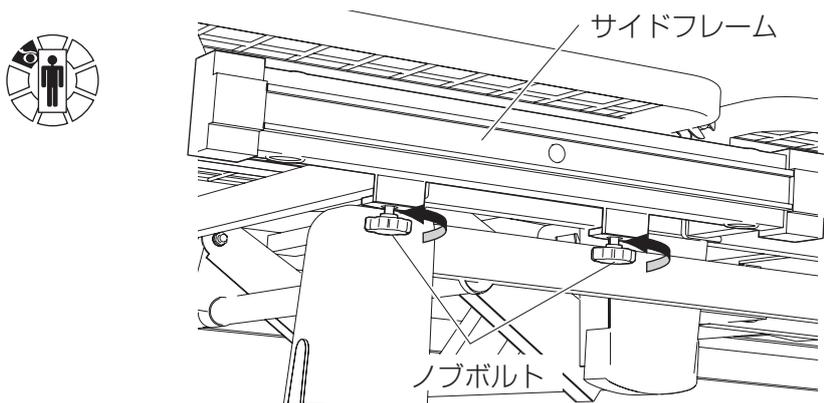


ヘッドボードの取り外しはフットボードと同様です。①を参照してヘッドボードを取り外してください。

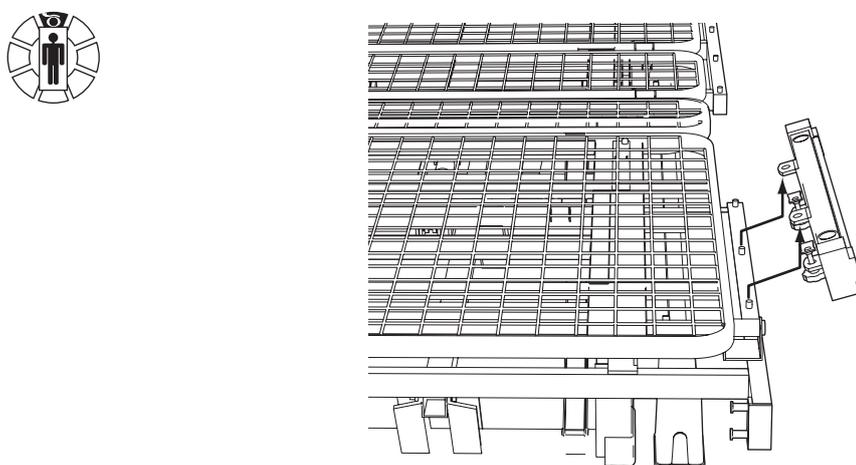
## 2 サイドフレームを取り外します

- サイドフレームの取り外しは、ニューリバティー（棚付）・ベスティー棚付シリーズをお買いあげ、またはレンタルのお客様のみです。

- ① サイドフレームの2カ所のノブボルトを緩めます。

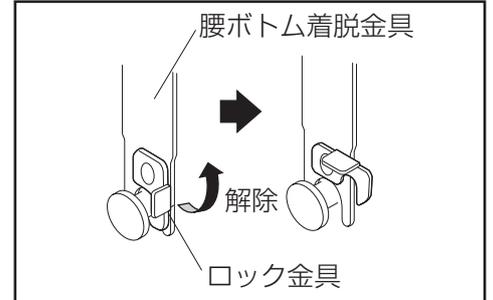
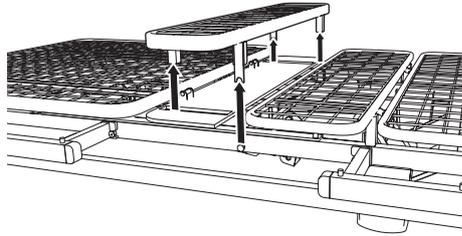


- ② 幅だしフレームから取り外します。おなじように残り3つのサイドフレームを取り外します。

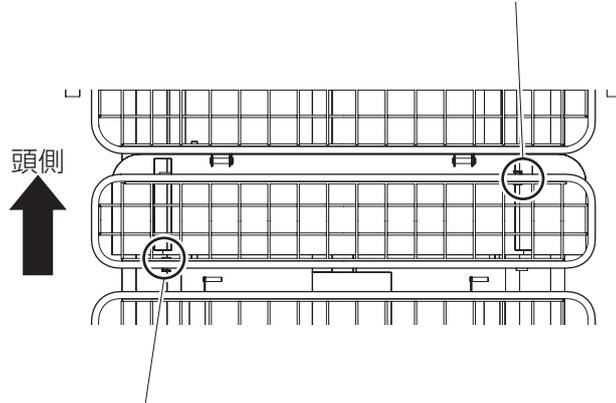


### 3 腰ボトムを取り外します

- ① 腰ボトムにある 2 カ所の着脱金具のロック金具を解除し、腰ボトムを上方向に取り外します。



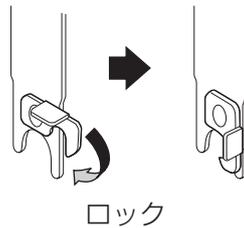
腰ボトム着脱金具  
(ハイローユニットの連結ピンと連結)



腰ボトム着脱金具  
(ハイローユニットの連結ピンと連結)

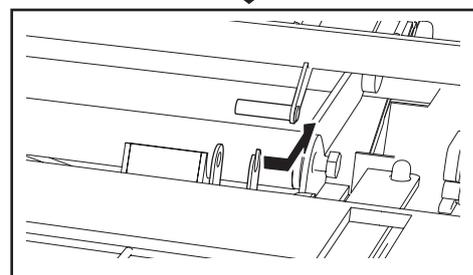
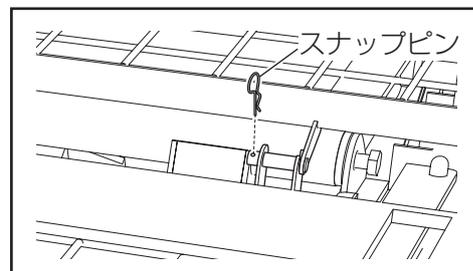
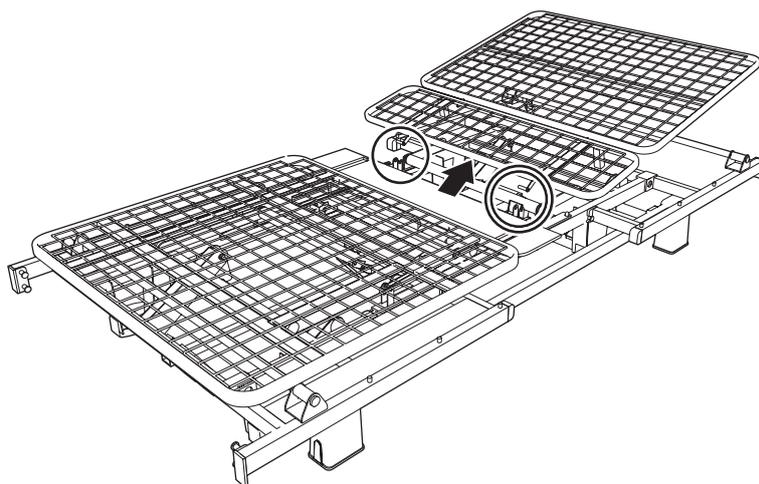


取り外した腰ボトムの連結金具の 2 カ所のロック金具は、搬送中の破損を防止するため、必ずロック位置に戻して梱包してください。



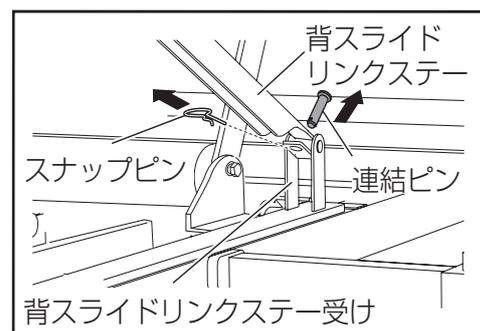
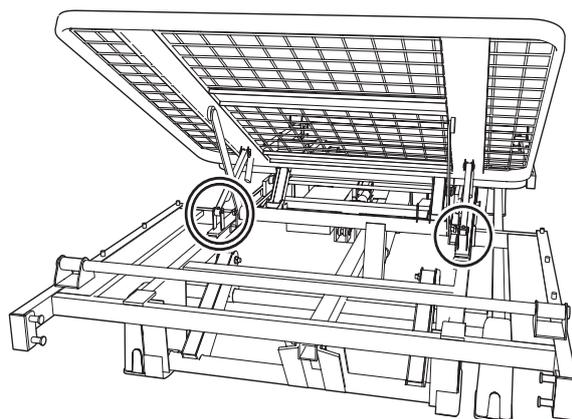
## 4 膝・脚ボトムを取り外します

- ① 膝ボトムと腰ボトムを連結している、左右の連結部のスナップピンを抜き取ります。膝・脚ボトムを持ち、3センチほど横にずらした後、上に持ち上げ取り外します。

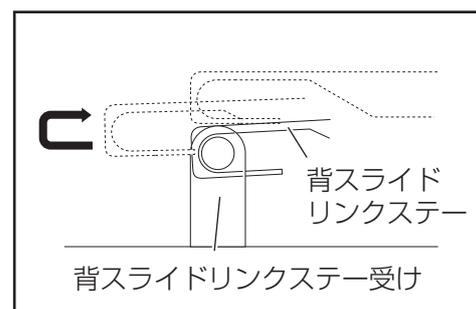
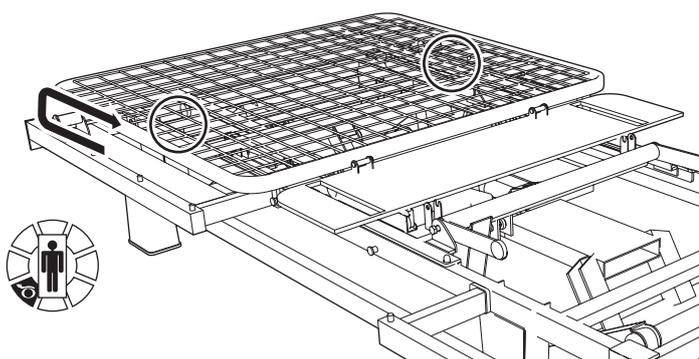


## 5 背・スライドボトムを取り外します

- ① 電源プラグをコンセントに差し込み、背ボトムを約 30 度の角度に手元スイッチで起こします。
- ② 電源プラグをコンセントから抜きます。
- ③ 左右の連結部の連結ピンを固定しているスナップピンを抜き取り、連結ピンを引き抜きます。



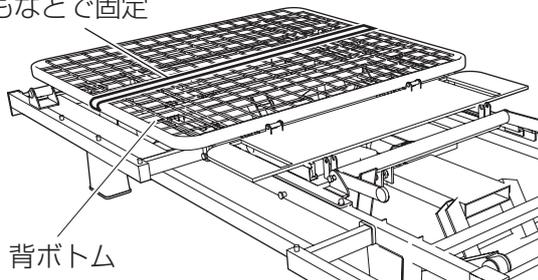
- ④ 電源プラグをコンセントに差し込み、背ボトムを約 10 度まで手元スイッチで下げます。
- ⑤ 電源プラグをコンセントから抜きます。
- ⑥ 背ボトムを手前に 20 センチほど引いた状態で、背スライドリンクステーを背スライドリンクステー受けから外し、背ボトムをもとの位置に戻します。



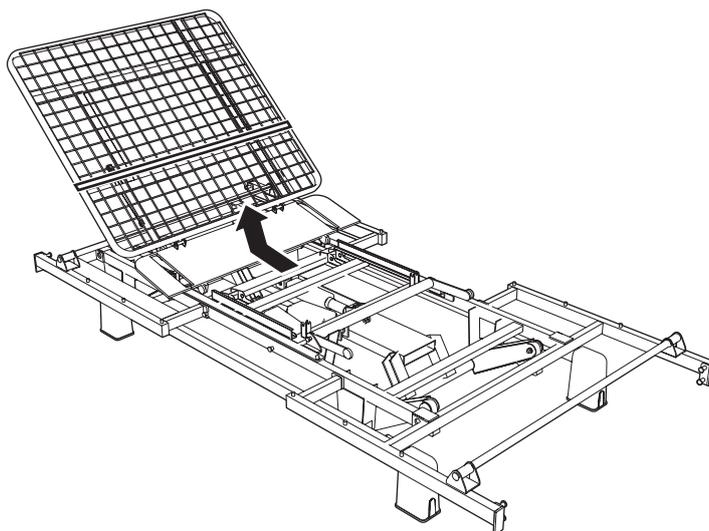
⑦ 背スライドリンクステーを背ボトムにひも等で固定し、動かないようにします。



背スライドリンクステー  
をひもなどで固定



⑧ レールからスライドボトムのローラーを引き出すように、背ボトム・スライドボトムを頭側に移動させ、ローラーがレールから外れたら上に持ち上げ取り外します。

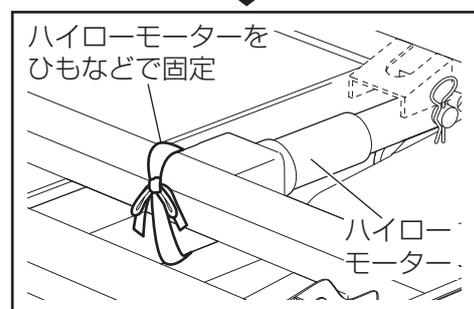
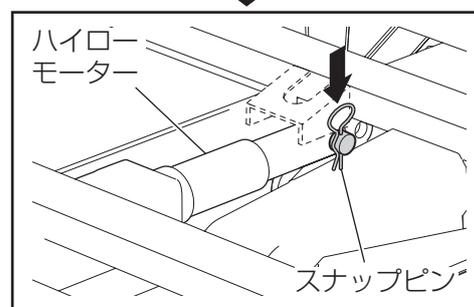
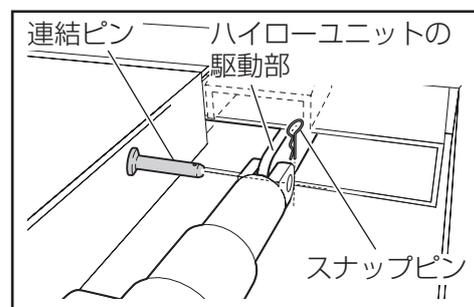
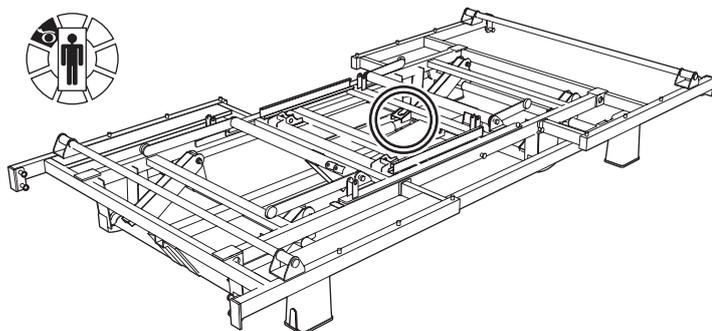


⑨ 電源プラグをコンセントに差し込み、背ボトムを最低位置まで手元スイッチで下げます。

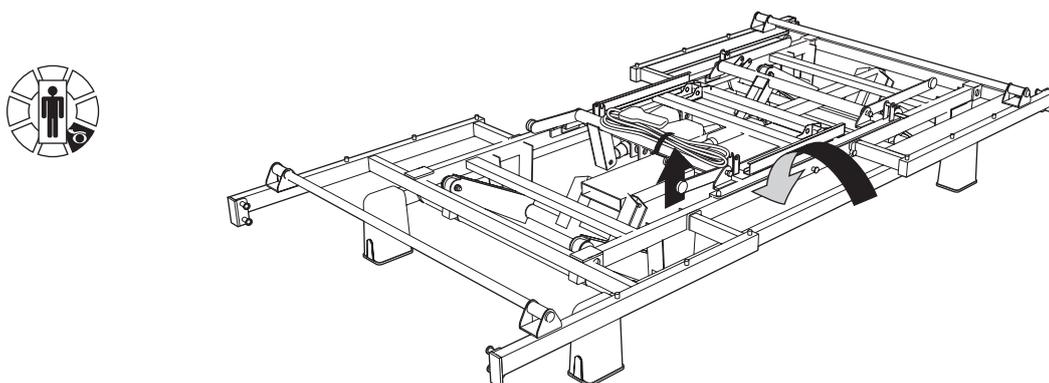
⑩ 電源プラグをコンセントから抜きます。

## 6 モーターユニットを取り外します

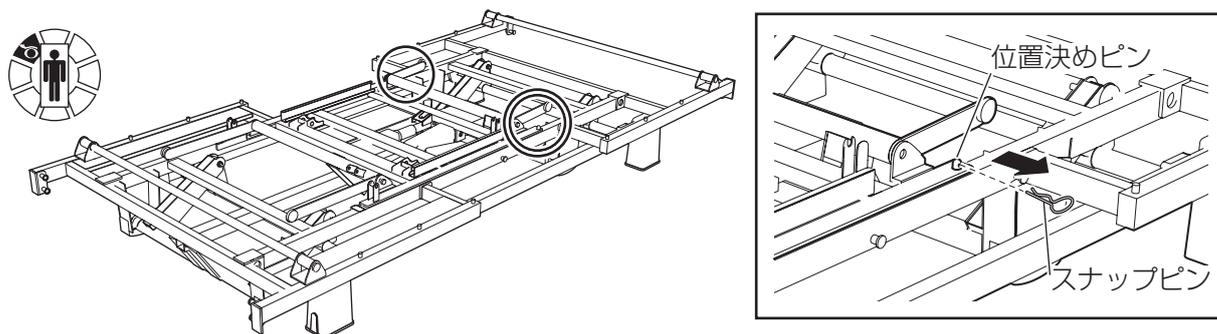
- ① 駆動部と連結しているハイローモーター先端の連結ピンのスナップピンを抜き取り、連結ピンを引き抜きます。この連結ピンをハイローモーター先端に差し込み、スナップピンで固定します。ハイローモーターをひもなどでモーターユニットのフレームに固定します。



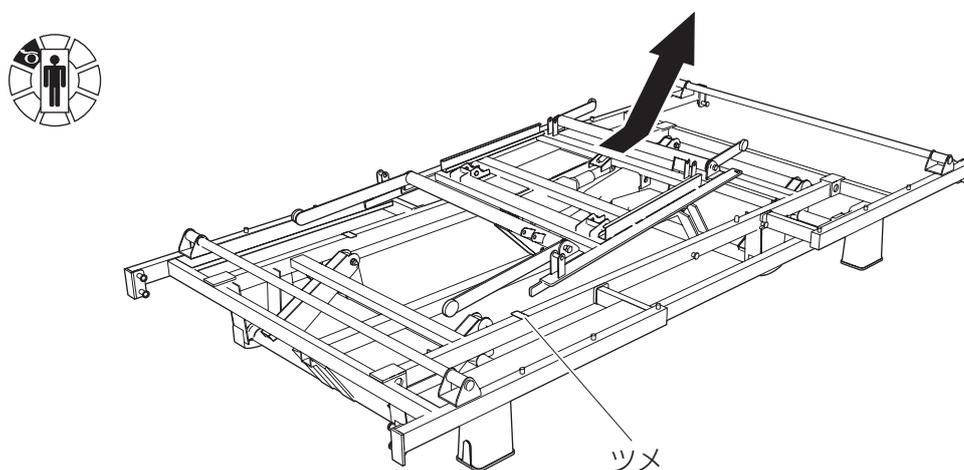
- ② 電源ケーブル・手元スイッチをモーターユニットの下から上に通し、ひも等で束ねます。



- ③ モーターユニットを固定している 2 カ所のスナップピンを抜きます。

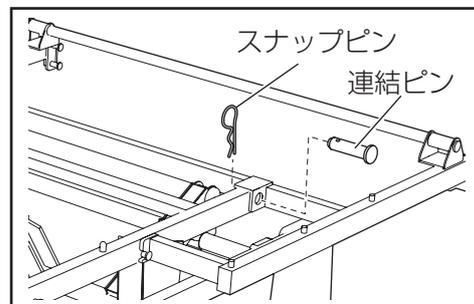
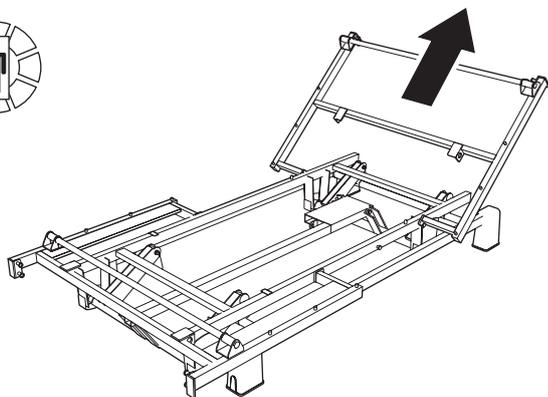


- ④ モーターユニットの脚側を 5 センチほど引き上げた状態で、モーターユニット全体を脚側へスライドさせ、ハイローユニットのツメから外した後、上に持ち上げ取り外します。

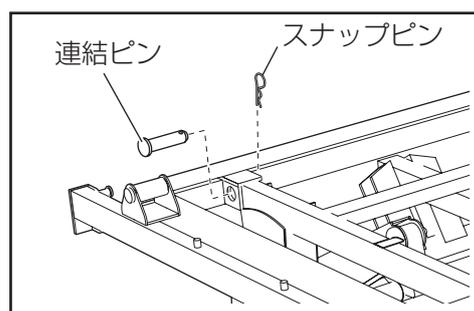
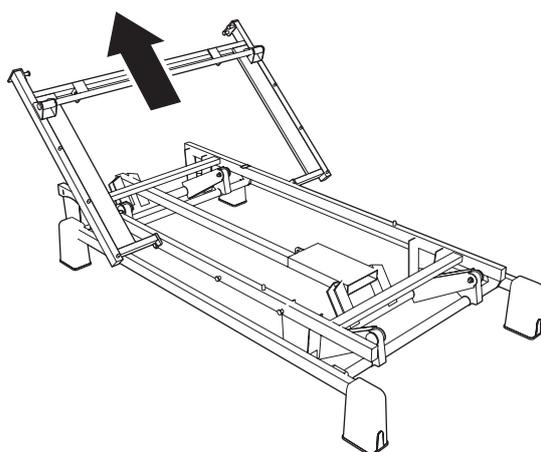


## 7 脚側・頭側幅だしフレームを取り外します

- ① 脚側幅だしフレームとハイローユニットを連結している、左右の連結ピンのスナップピンを抜きます。連結ピンを取り外し、脚側幅だしフレームを上に取り上げ取り外します。

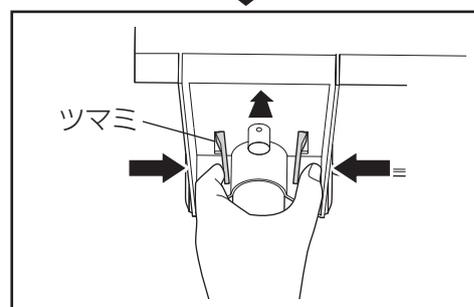
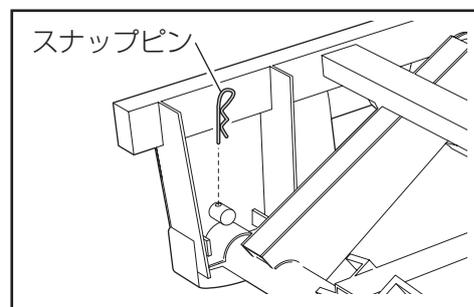
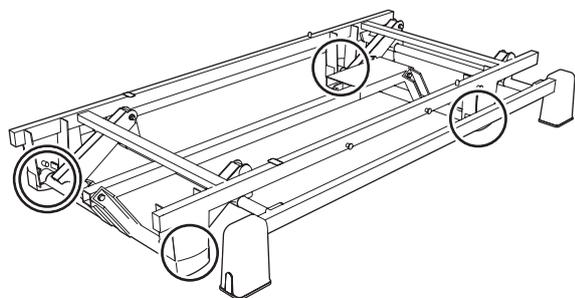


- ② 頭側幅だしフレームとハイローユニットを連結している、左右の連結ピンのスナップピンを抜きます。連結ピンを取り外し、脚側幅だしフレームを上に取り上げ取り外します。

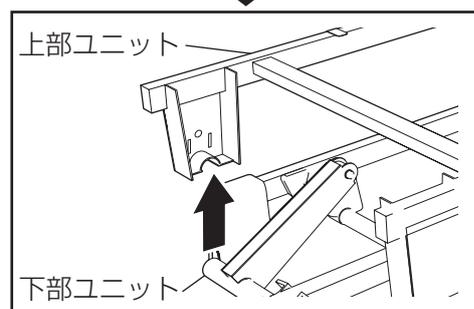


## 8 脚座を取り外します

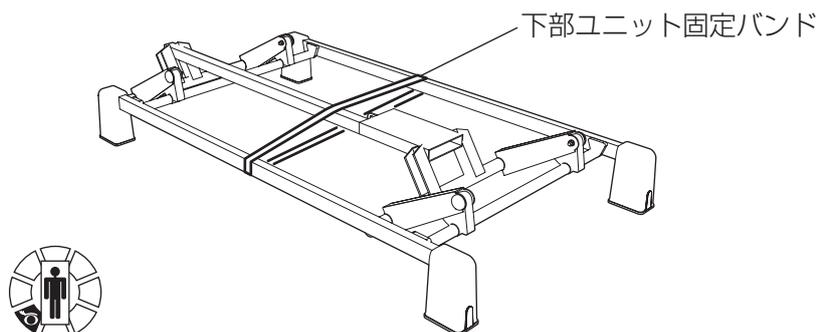
- ① 樹脂カバーを固定しているスナップピンを抜き、樹脂カバーを取り外します。上部ユニットを下部ユニットより取り外します。



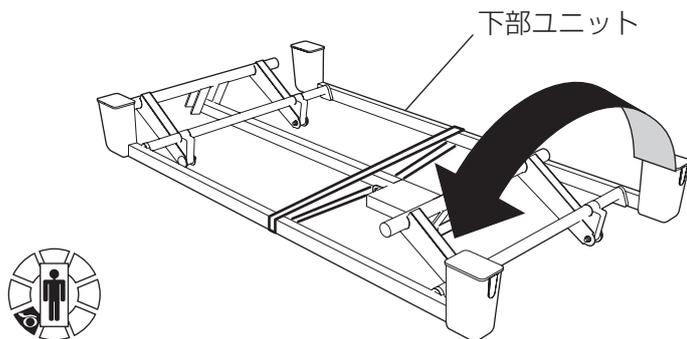
 樹脂カバーはつまみを挟み込みながらベッド外側に向けて押し出してください。



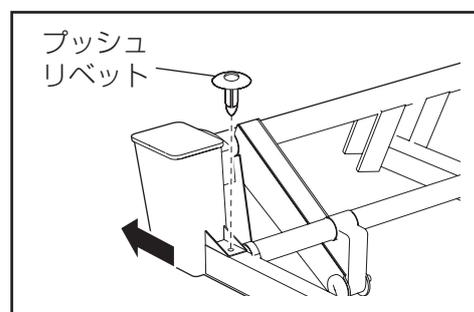
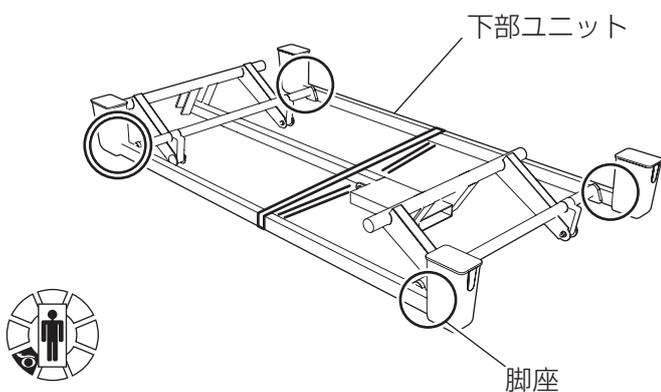
- ② 下部ユニット固定バンドで下部ユニットを固定します。



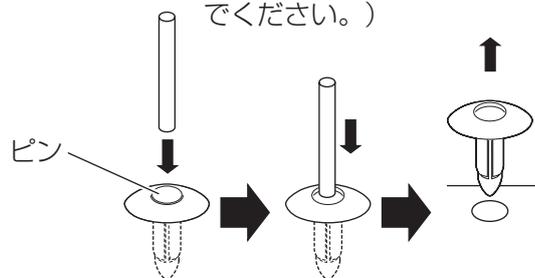
③ 下部ユニットを裏返します。



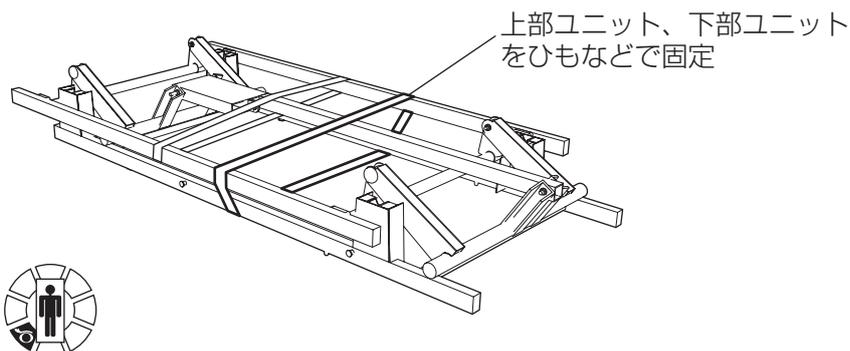
④ 4つの脚座を取り外します。脚座を固定しているプッシュリベットのピンを棒状のもので押し込みプッシュリベットを外し、脚座を下部ユニットから引き抜いてください。



((( )))  
ポイント  
プッシュリベットはピンを棒状のもので軽く押し込むと外れます。(押し込みすぎないでください。)



⑤ 再び下部ユニットを裏返し、頭側と脚側の向きを逆にするため180度回転させます。上部ユニット、下部ユニットを組み合わせ、ひもなどで固定します。



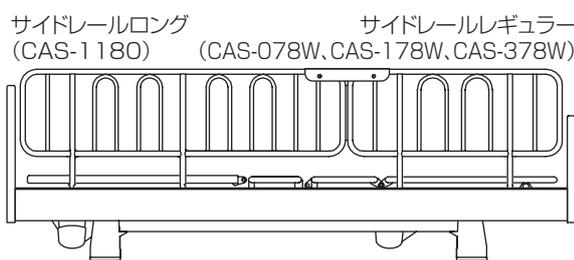
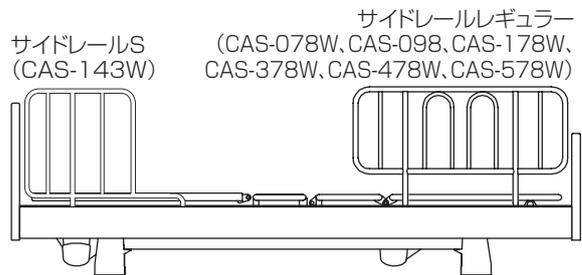
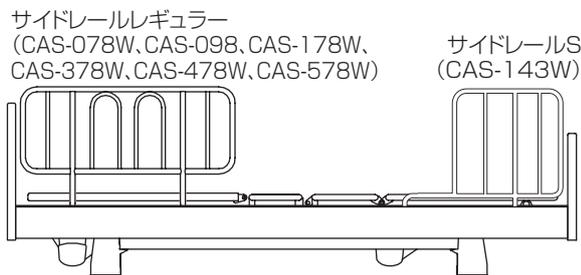
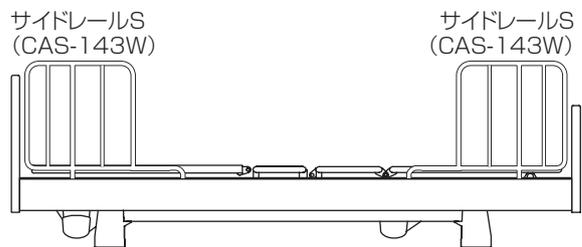
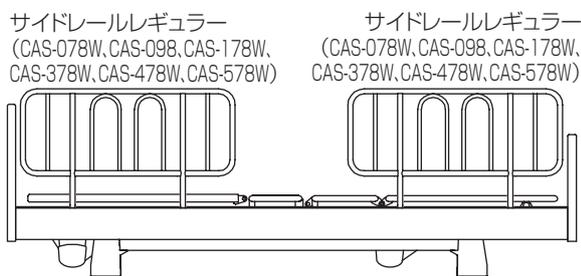
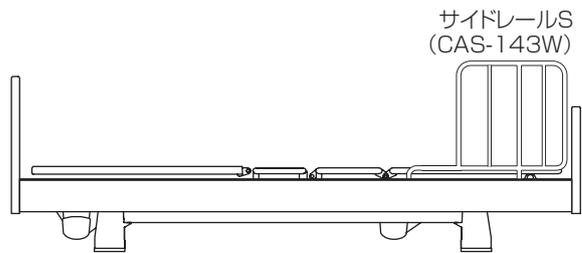
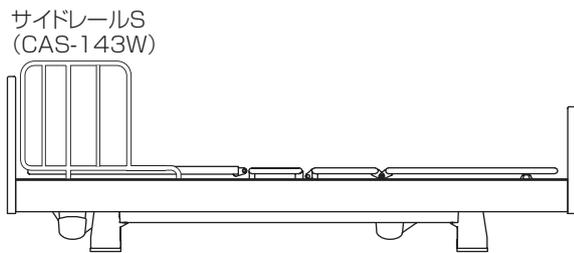
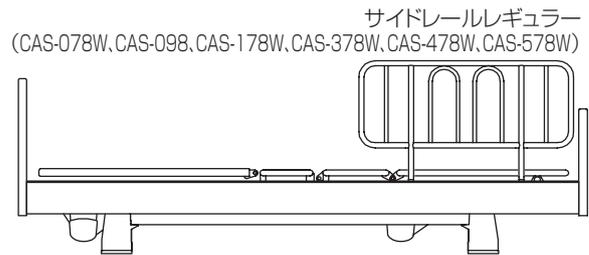
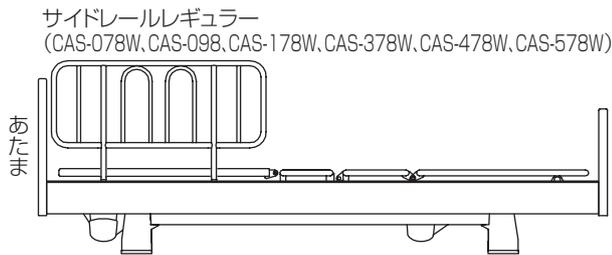
# 10. サイドレール・ベッド用グリップの取り付け 及び適合するマットレスについて

サイドレール、ベッド用グリップのベッドへの取付けは下記の図表を参照して、正しい組み合わせで、また、正しい方向に取り付けてください。

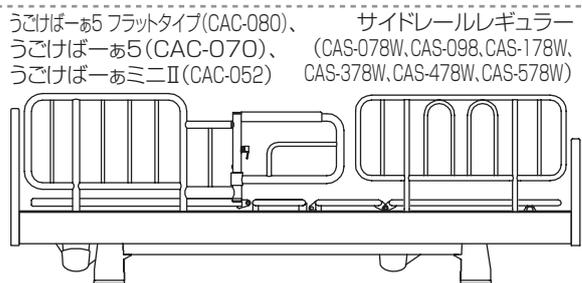
※サイドレール、ベッド用グリップはベッドのサイズに合わせてお選びください。

※サイドレールレギュラーのイラストは、CAS-078Wになります。

**[レギュラー(ロング)サイズ]ベッドの場合** (イラストはレギュラーサイズベッドに取り付けた場合です。ロングサイズベッドへの取り付けはイラストと若干異なります。)

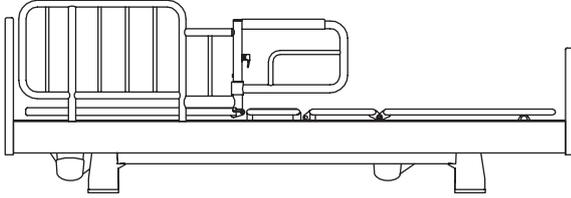


※レギュラーサイズベッドのみの組み合わせとなります。



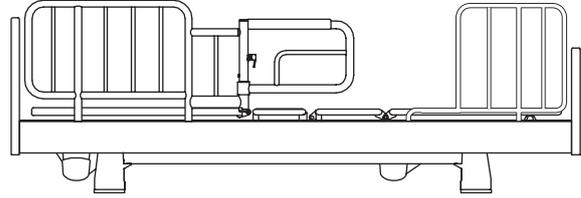
※レギュラーサイズベッドのみの組み合わせとなります。

うごけばーあ5 フラットタイプ(CAC-080)、  
 うごけばーあ5(CAC-070)、  
 うごけばーあミニII(CAC-052)



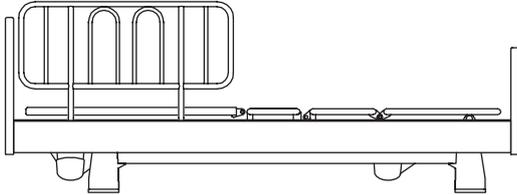
うごけばーあ5 フラットタイプ(CAC-080)、  
 うごけばーあ5(CAC-070)、  
 うごけばーあミニII(CAC-052)

サイドレールS  
 (CAS-143W)

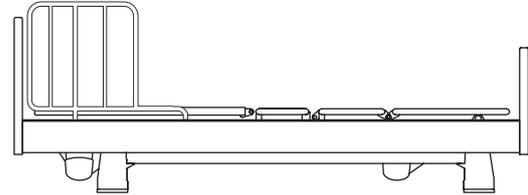


**[ショートサイズ]ベッドの場合**

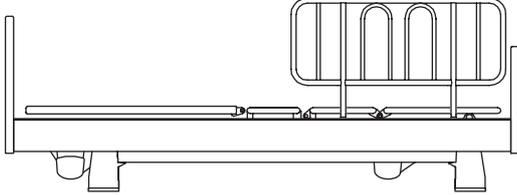
サイドレールレギュラー  
 (CAS-078W, CAS-098, CAS-178W,  
 CAS-378W, CAS-478W, CAS-578W)



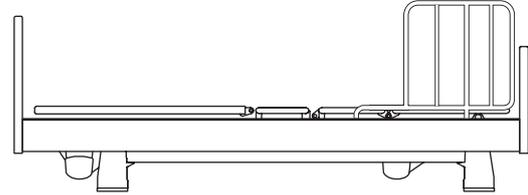
サイドレールS  
 (CAS-143W)



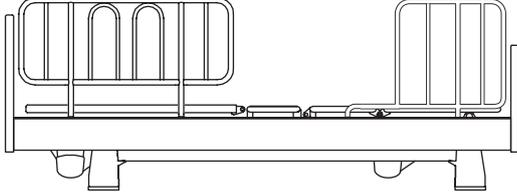
サイドレールレギュラー  
 (CAS-078W, CAS-098, CAS-178W,  
 CAS-378W, CAS-478W, CAS-578W)



サイドレールS  
 (CAS-143W)

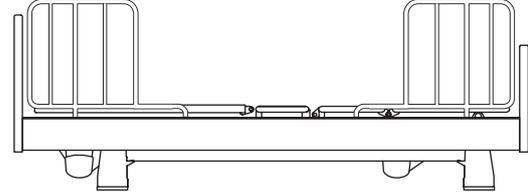


サイドレールレギュラー  
 (CAS-078W, CAS-098, CAS-178W,  
 CAS-378W, CAS-478W, CAS-578W)

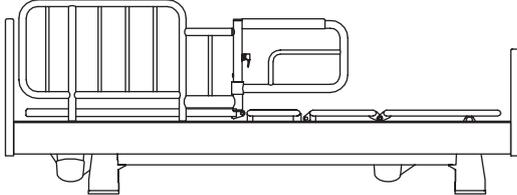


サイドレールS  
 (CAS-143W)

サイドレールS  
 (CAS-143W)

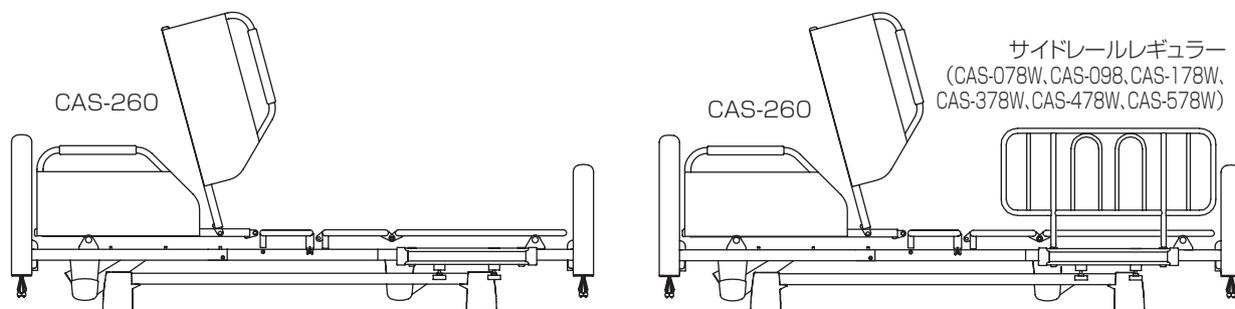


うごけばーあ5 フラットタイプ(CAC-080)、  
 うごけばーあ5(CAC-070)、  
 うごけばーあミニII(CAC-052)

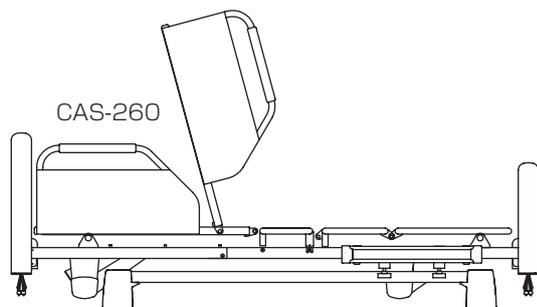


## 彩ベッドに固定型サイドレールをつけた場合

[レギュラーサイズ]ベッドの場合



[ショートサイズ]ベッドの場合



### ⚠ 警告

- ・ オプション間のすき間やオプションとヘッド・フットボードのすき間に、頭や首が入らないように注意してください。
- ・ 各オプションに添付されている取扱説明書も必ずお読みください。
- ・ サイドレールは、ベッドで寝ている人の転落予防、寝具の落下予防を目的としています。立ち上がり時など、支えとしてお使いになる場合はベッド用グリップをお使いください。

### ■マットレス

ベッドサイズ	マットレスサイズ (mm)
84 幅	長さ 1960mm × 幅 840mm × 厚さ 150mm 以下
91 幅レギュラー	長さ 1960mm × 幅 910mm × 厚さ 150mm 以下
91 幅ショート	長さ 1760mm × 幅 910mm × 厚さ 150mm 以下
91 幅ロング	長さ 2100mm × 幅 910mm × 厚さ 150mm 以下
100 幅	長さ 1960mm × 幅 1000mm × 厚さ 150mm 以下
120 幅	長さ 1960mm × 幅 1200mm × 厚さ 150mm 以下

# 11. 停電・故障時の取り扱いについて

- 停電やベッドの故障時に、背ボトム、膝・脚ボトムが上がったままの状態を平らにすることができます。

## ⚠ 注意

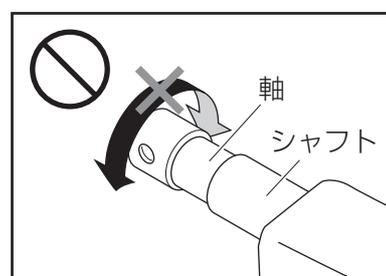
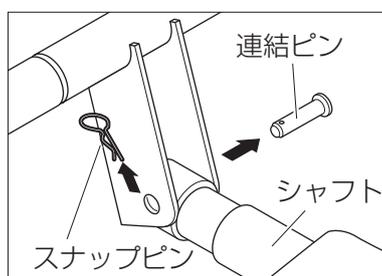
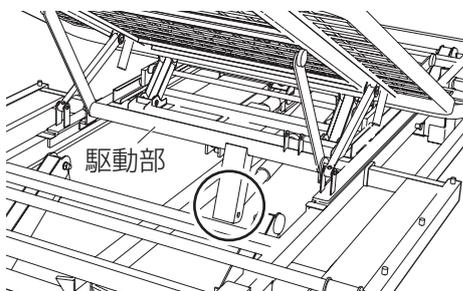
駆動部の連結部を外すことにより行います。ベッドをはじめの状態に復旧させるものではありません。手元スイッチでの操作は、停電やベッドの故障が回復するまで使用できません。

- ① 寝具やマットレスを降ろします。
- ② 下げたいボトムの駆動部の連結を解除します。

## ⚠ 注意

連結部を解除すると、モーターにより駆動していた部分が自由な状態となり平らな状態へ戻ります。手などをはさまないように注意してください。

ボトムを起こすと図のような連結部があります。連結部を固定しているスナップピンを抜き、連結ピンを取り外します。



- ③ 駆動部を平らな状態にします。

## ⚠ 警告

モーターの軸を回転させると、故障や人身事故を招く恐れがあります。モーターを取り外した場合は、絶対に軸を回転させないで下さい。

## ⚠ 注意

停電やベッドの故障が回復したら、駆動部と連結部を元に戻してください。

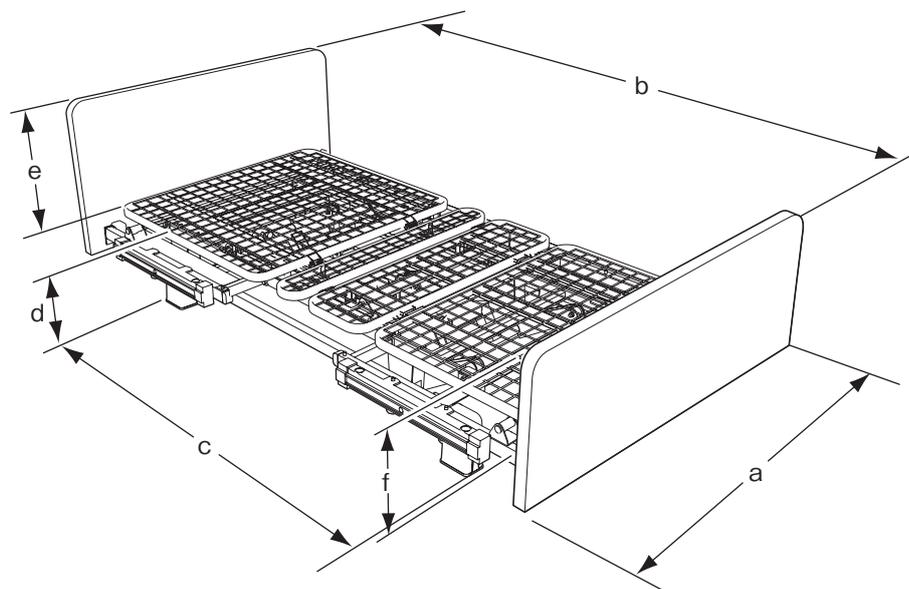
# 12. 仕様について

## ■ ニューリバティ（棚付）・ベスティー棚付ベッドシリーズ

		マット幅 84	マット幅 91	マット幅 100	マット幅 120	
a	ベッド全幅 (mm)	926	996	1086	1286	
b	ベッド全長 (mm)	ニューリバティ	2060	S:1860 R:2060 L:2260※2	2060	2060
		ニューリバティ棚付	—	S:2005 R:2205※2		
		ニューベスティー棚付	—	S:2012 R:2212※2		
c	脚座間長さ (mm)	1330				
d	ベッド床高 (mm)	標準: 300 ~ 600 低床: 265 ~ 565				
e	ヘッド高さ (mm)	ニューリバティ	標準: 336 ~ 636			
		ニューリバティ棚付	標準: 328 ~ 628			
		ニューベスティー棚付	標準: 403 ~ 703			
f	フット高さ (mm)	標準: 226 ~ 526				
背上げ及び膝上げ		2 モーター 3 モーター	背・膝連動: 背上げ…75度 膝上げ…20度 背・膝連動解除: 背上げ…75度 膝上げ…0度 背上げ…0 ~ 75度 膝上げ…0 ~ 40度 ※1			
重量 (kg)	ニューリバティ (2M / 3M)	88.1 / 89.4	S:88.8/90.1 R:89.9/91.2 L:91.8/93.1 ※2	92.1/93.4	104.9/106.2	
	ニューリバティ棚付 (2M / 3M)	—	S:91.9/93.2 R:93/94.3 ※2	—	—	
	ニューベスティー棚付 (2M / 3M)	—	S:102.4/103.7 R:103.5/104.8 ※2	—	—	
材質	木部	ニューリバティ棚付	化粧板			
	モーターユニット		スチール製: 抗菌粉体塗装仕上げ			
	ベースユニット					
	幅出しユニット					
	ボトムユニット					
安全使用者体重	135kg					
安全使用荷重 ※3	173.4kg (1700N)					
最大連続使用時間 ※4	約 5分					
電圧 (V)	100					
電流 (A)	1.5 ~ 1.7					
モーター消費電力 (W)	150 ~ 170 (モーター 1 台あたり)					

## ■ 彩ベッドシリーズ

		マット幅 91	
a	ベッド全幅 (mm)	920	
b	ベッド全長 (mm)	S:1916 R:2116 ※2	
c	脚座間長さ (mm)	1330	
d	ベッド床高 (mm)	標準: 300 ~ 600 低床: 265 ~ 565	
e	ヘッド高さ (mm)	標準: 350 ~ 650	
f	フット高さ (mm)	標準: 240 ~ 540	
背上げ及び膝上げ		2 モーター 3 モーター	背・膝連動: 背上げ…75度 膝上げ…20度 背・膝連動解除: 背上げ…75度 膝上げ…0度 背上げ…0 ~ 75度 膝上げ…0 ~ 40度 ※1
重量 (kg)	(2M / 3M)	S:90.4 / 91.7 R:91.5 / 92.8 ※2	
材質	木部	PVC-RoHS・繊維板・ウレタン	
	モーターユニット	スチール製: 抗菌粉体塗装仕上げ	
	ベースユニット		
	幅出しユニット		
	ボトムユニット		
安全使用者体重	135kg		
安全使用荷重 ※3	173.4kg (1700N)		
最大連続使用時間 ※4	約 5分		
電圧 (V)	100		
電流 (A)	1.5 ~ 1.7		
モーター消費電力 (W)	150 ~ 170 (モーター 1 台あたり)		



	項目	箇所
a	全幅(mm)	最大外径寸法
b	全長(mm)	最大外径寸法
c	脚座間の長さ(mm)	脚座中心間の長さ
d	ボトムの高さ(mm)	床からボトム上面まで
e	ヘッドボードの高さ(mm)	ボトム上面からヘッドボードの上端まで
f	フットボードの高さ(mm)	ボトム上面からフットボードの上端まで

## 13. 故障かな？と思ったら

- 修理を依頼する前に以下の項目をチェックしてください。それでも改善されないときは、ベッドの使用をやめて販売店に修理を依頼してください。

### チェック1

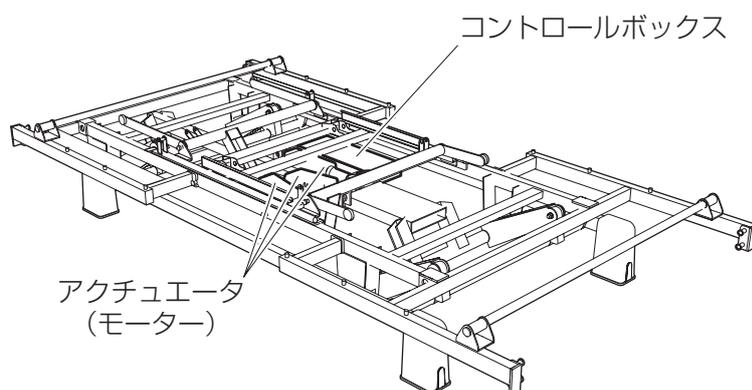
電源プラグはコンセントに差し込まれていますか？

対応：電源プラグをコンセントに差し込んでください。

### チェック2

手元スイッチのコネクタがコントロールボックスから外れていませんか？

対応：手元スイッチのコネクタをコントロールボックスに差し込んでください。



### チェック3

アクチュエータ（モーター）のケーブルがコントロールボックスから外れていませんか？

対応：アクチュエータ（モーター）のケーブルをコントロールボックスに差し込んでください。

### チェック4

手元スイッチのランプが点滅していませんか？

対応：連続使用でアクチュエータやコントロールボックスが熱くなると過熱防止回路がはたらき、アクチュエータが停止します。

ランプが点灯の状態になるまで 20 分程お待ちください。



## ランダルコーポレーション営業所

万が一不具合等ございましたら、販売店またはお近くの  
営業所・サテライトまでお問い合わせください。

- 本社工場** 〒 354-0044 埼玉県入間郡三芳町北永井 421  
TEL.049-259-4433 FAX.049-259-4430
- 青森サテライト** 〒 030-0921 青森県青森市原別 8-9-1  
TEL.017-736-9535 FAX.017-736-9534
- 八戸サテライト** 〒 039-1164 青森県八戸市下長 8-10-8  
TEL.0178-20-8212 FAX.0178-20-8213
- 秋田サテライト** 〒 010-0941 秋田県秋田市川尻町字大川反 170-81  
TEL.018-893-3861 FAX.018-893-3862
- 岩手営業所** 〒 020-0846 岩手県盛岡市流通センター北 1-2-20  
TEL.019-614-3007 FAX.019-639-0631
- 仙台営業所** 〒 984-0821 宮城県仙台市若林区中倉 3-17-54  
TEL.022-782-5286 FAX.022-782-5287
- 埼玉営業所** 〒 354-0044 埼玉県入間郡三芳町北永井 421  
TEL.049-274-3132 FAX.049-274-3134
- 八王子サテライト** 〒 193-0824 東京都八王子市長房町 22-26  
TEL.0426-68-9168 FAX.0426-68-9167
- 東京営業所** 〒 120-0005 東京都足立区綾瀬 1-20-18  
TEL.03-5629-5080 FAX.03-5629-5081
- 千葉サテライト** 〒 262-0022 千葉県千葉市花見川区南花園 2-9-21  
RT サンライト 101 号室  
TEL.043-213-5775 FAX.043-273-5754
- 横浜サテライト** 〒 220-0023 神奈川県横浜市西区平沼 1-30-6  
TEL.045-317-6052 FAX.045-317-6053
- 名古屋サテライト** 〒 485-0059 愛知県小牧市小木東 1-12  
TEL.0568-43-0790 FAX.0568-43-0830
- 大阪営業所** 〒 578-0981 大阪府東大阪市島之内 2-14-27  
TEL.072-960-3600 FAX.072-960-3700
- 岡山サテライト** 〒 700-0975 岡山県岡山市北区今 8-3-35  
TEL.086-242-6055 FAX.086-242-6066

### 株式会社ランダルコーポレーション本社

〒 351-0034 埼玉県朝霞市西原 1-7-1

代 表 : TEL.048-475-3661 FAX.048-475-3712  
営 業 部 : TEL.048-475-3662